

泉南市埋蔵文化財センター 年報

平成 26 年度

はじめに

当施設は、ふたつの機能を兼ね備えております。1階は埋蔵文化財センターとして、市内埋蔵文化財の発掘調査やそれに伴う出土品の整理・保管・研究を、行ってまいりました。2階は博物館的な施設として、隣接する国史跡海会寺跡出土の国指定重要文化財をはじめ、調査などによって得られた市内文化財の情報をひろく市民に還元する施設です。これまで、施設内での歴史講座や体験学習などのほか、学校教育機関へ出張講座などの普及啓発事業を行ってまいりました。

本書は、当施設の事業のうち、平成26年度に実施した普及啓発事業をまとめたものです。これまでのご理解とご協力に御礼申し上げますとともに、今後も市民の皆様のご要望にお応えできるよう、より充実した事業展開に努めてゆく所存であります。

泉南市教育委員会

1. 施設の概要	1
2. 組織・職員	2
3. 利用者数と利用形態	2
4. 展示	4
5. 体験学習	4
6. フィールドワーク	5
7. 講座	6
8. 文化財普及啓発ボランティア	6
9. 市内資源発見活用事業	6
10. 文化財活用促進事業	8
10-1 海会寺ハスいっぱいプロジェクト事業	8
10-2 文化財を活かした地域づくり事業	8
10-3 郷土カルタ作成事業	8
【参考資料】 各事業のニュースレター	9
11. 附編	
埋蔵文化財センター条例・同施行規則	27
史跡海会寺跡広場条例・同施行規則	27

1. 施設の概要

略沿革

- 平成 6 年 7 月～平成 7 年 3 月 基本設計及び実施設計。
- 平成 7 年 3 月 浄化槽設置工事完成。
- 平成 7 年 6 月 海会寺跡出土遺物 302 点が国の重要文化財に指定される。
- 史跡海会寺跡整備事業完了。「史跡海会寺跡広場」として一般開放開始。
- 平成 8 年 3 月 埋蔵文化財センター竣工。
- 1 階埋蔵文化財センター部門供用開始。
- 平成 9 年 4 月 埋蔵文化財センター条例、同施行規則施行。
- 展示施設一般開放開始。
- 平成 10 年 7 月 重要文化財海会寺跡出土遺物を常設展示とする特別展示室オープン。

施設

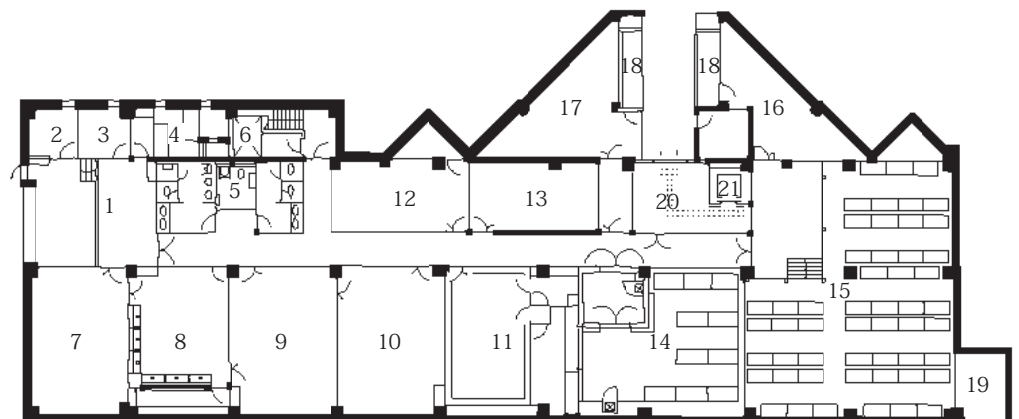
鉄筋コンクリート造地上 2 階耐火構造

敷地面積	4602.24 m ²
建築面積	1164.82 m ²
延床面積	1893.86 m ²
1 階	990.89 m ²
2 階	902.97 m ²
総室数	1 階 27 部屋
	2 階 16 部屋

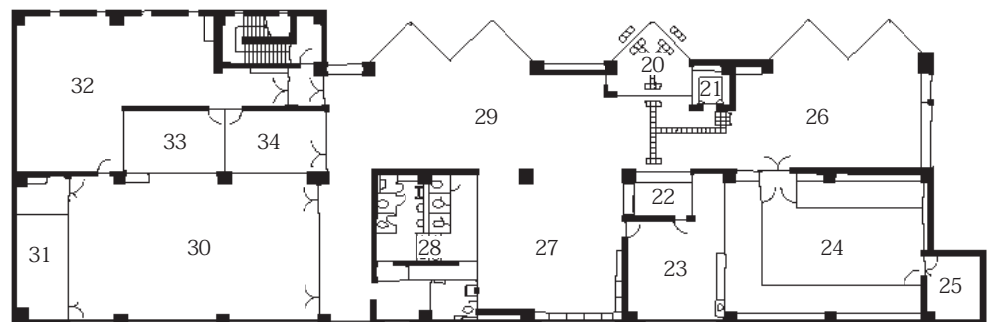
泉南市埋蔵文化財センター事業費（平成 7 年度完成分まで）

設計委託	11,433,000 円
設計事務管理委託	8,446,000 円
浄化槽設置工事	43,260,000 円
建築工事	762,200,000 円
植栽工事	6,180,000 円
上水道施設負担金等	958,000 円
用地購入	532,018,944 円

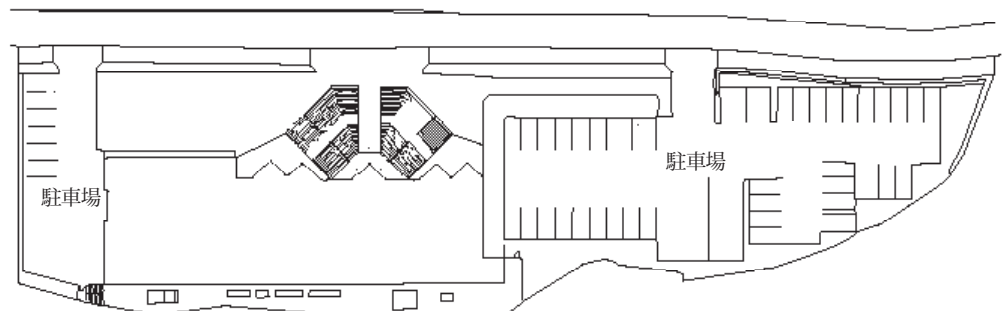
- 1 荷解場
- 2 警備員室
- 3 女子更衣室
- 4 休憩室
- 5 トイレ
- 6 ポンプ室
- 7 仮収蔵庫
- 8 洗浄室
- 9 遺物整理室
- 10 記録整理室
- 11 写場・暗室・乾燥室
- 12 図面収蔵庫
- 13 写真収蔵庫
- 14 特別収蔵庫
- 15 収蔵庫 1
- 16 収蔵庫 2
- 17 収蔵庫 3
- 18 展示ケース
- 19 CO₂ボンベ室
- 20 風除室
- 21 エレベーター
- 22 受付
- 23 事務室
- 24 特別展示室
- 25 展示準備室
- 26 展示ホール
- 27 図書情報コーナー
- 28 トイレ
- 29 サロン
- 30 講堂兼視聴覚室
- 31 倉庫
- 32 調査研究室
- 33 図書保管室
- 34 会議室



1 階 平面図



2 階 平面図



2. 組織・職員

教育長 蔵野博司

教育部 部長 上之山 正人

次長 小林 宏

生涯学習課 課長 岡坂吾一

課長代理 阪本広行

文化財保護係 係長 岡 一彦（本庁勤務）

主査 城野博文（埋蔵文化財センター勤務）

主査 河田泰之（埋蔵文化財センター勤務）

3. 利用者数と利用形態

月別入館者数

	開館 日数	大人		子ども		計
		男	女	男	女	
4月	23	283	169	50	27	484
5月	22	145	78	54	54	331
6月	23	207	132	32	24	395
7月	24	108	80	101	44	333
8月	23	237	273	287	247	1044
9月	22	156	71	8	2	237
10月	23	173	94	25	18	310
11月	20	69	46	46	59	220
12月	25	306	186	41	27	560
1月	21	180	85	74	66	405
2月	21	266	165	32	43	506
3月	24	318	181	68	63	630
計	271	2403	1560	818	674	5455

施設外への出張事業（依頼・共催）-1

月日	施設名（依頼内容）	人数
4月16日	泉南市立西信達小学校 （6年生：まが玉づくり）	69
4月29日	きしわだ自然資料館 （小学生・保護者：縄文時代の文様を描く）	28
4月30日	泉南市立西信達小学校 （6年生：縄紋クッキーづくり）	69
5月14日	市立青少年センター （子ども元気広場：組みひもづくり）	5
5月19日	泉南市立樽井小学校 （6年生：ハニワづくり）	123
5月28日	市立青少年センター （子ども元気広場：組みひもづくり）	6
5月29日	泉南市立鳴滝小学校 （子ども元気広場：組みひもづくり）	20
5月30日	泉南市立一丘小学校 （6年生：ハニワづくり）	66

施設外への出張事業（依頼・共催）-2

6月11日	市立青少年センター （子ども元気広場：まが玉づくり）	5
6月12日	泉南市立一丘小学校 （6年生：火おこし・ハニワ焼き）	66
6月13日	泉南市立樽井小学校 （6年生：ハニワ焼き）	123
6月25日	市立青少年センター （子ども元気広場：まが玉づくり）	6
7月3日	泉南市立鳴滝小学校 （子ども元気広場：まが玉づくり）	20
7月9日	市立青少年センター （子ども元気広場：割りばし鉄砲づくり）	5
7月13日	きしわだ自然資料館 （ミニ実習：縄文時代の文様を描く）	20
7月23日	市立青少年センター （子ども元気広場：割りばし鉄砲づくり）	6
7月24日	樽井公民館 （出前まいぶんクラブ：まが玉ネックレスづくり）	20
7月25日	信達公民館 （出前まいぶんクラブ：まが玉ネックレスづくり）	20
7月31日	新家公民館 （出前まいぶんクラブ：まが玉ネックレスづくり）	20
8月1日	西信達公民館 （出前まいぶんクラブ：まが玉ネックレスづくり）	20
8月21日	樽井公民館 （出前まいぶんクラブ：組みひもづくり）	20
8月22日	信達公民館 （出前まいぶんクラブ：組みひもづくり）	20
8月23日	大阪府立弥生文化博物館 （メソポタミアな！プラ板キーホルダーづくり）	116
8月24日	大阪府立弥生文化博物館 （メソポタミアな！プラ板キーホルダーづくり）	116
8月28日	新家公民館 （出前まいぶんクラブ：組みひもづくり）	20
8月29日	西信達公民館 （出前まいぶんクラブ：組みひもづくり）	20
9月10日	市立青少年センター （子ども元気：組みひもづくり）	5
9月24日	市立青少年センター （子ども元気広場：フロッターージュ）	6
9月28日	きしわだ自然資料館 （ミニ実習：組みひもづくり）	20
10月8日	市立青少年センター （子ども元気広場：こま回し）	5
10月9日	泉南市立鳴滝小学校 （子ども元気広場：組みひもづくり）	20
10月17日	市立おおぞら幼稚園 （PTA職員：まが玉づくり・組みひもづくり）	50
10月20日	泉南市立保健センター （40歳以上：泉南市の歴史と史跡・神社）	20
10月22日	市立青少年センター （子ども元気広場：こま回し）	5
10月26日	西信達地区地域教育協議会 （西信フェスタ：組みひもづくり）	100
11月8日	一丘中学校地区地域教育協議会 （リサイクル市：組みひもづくり）	100
11月12日	市立青少年センター （子ども元気広場：組みひもづくり）	11

施設外へ出張事業（依頼・共催）-3

11月13日	泉南市立鳴滝小学校 (子ども元気広場：組みひもづくり)	20
11月18日	泉南市立新家小学校 (遠足：まが玉づくり)	57
11月26日	市立青少年センター (子ども元気広場：組みひもづくり)	6
12月9日	泉南市立鳴滝小学校 (子ども元気広場：組みひもづくり)	20
12月14日	泉南市商工会 (泉南マルシェ：折り紙づくり・組みひもづくり)	50
1月29日	市立西信達小学校 (3年生：民具の使用体験)	74
1月29日	市立信達小学校 (3年生：民具の使用体験)	150
2月22日	きしわだ自然資料館 (ミニ実習：弥生時代文様トートバックづくり)	20
3月26日	大阪府立弥生文化博物館 (弥生フェスタ：消しゴムハンコ)	180
合計		1948

おもな団体見学

月日	団体名(内容)	人数
5月27日	市立一丘小学校 6年生(施設見学・まが玉づくり)	66
8月22日	市立東小学校 教員(施設見学と解説)	27
10月20日	泉南市人権啓発推進協議会(施設見学と解説)	10
10月23日	市立砂川小学校 3年生 (社会見学・紙芝居と砂川遊園展)	96
10月31日	市立新家小学校 1・2年生(遠足・見学と紙芝居火おこし)	95
11月18日	市立くすのき幼稚園 5歳児 職員(見学と紙芝居)	148
1月13日	市立砂川小学校 3年生 (社会見学・民具の見学と使用体験)	96
2月26日	大阪府景観形成誘導推進協議会泉州ブロック会議	15
3月24日	ウィンディ・ウィローズ (見学と紙芝居・組みひもづくり)	10
3月25日	ウィンディ・ウィローズ (見学と紙芝居・組みひもづくり)	12
合計		575

その他依頼

月日	団体名	内容	人数
8月19日	指導課	市内小中学校初任者研修(体験学習の実施)	30
12月20日	紀州街道信達宿 まちづくり協議会	イベント開催に伴う施設利用	30
1月27日	保育子育て支援課	いちおか広場でのむかし遊びの実施 (タコ作り)	24
2月20日	保育子育て支援課	いちおか広場でのむかし遊びの実施 (組みひもづくり)	48
3月5日	富山大学人文学部 日本語研究室	方言調査	23

資料貸出しなど

依頼元	内容	点数
市立図書館	【資料複写】砂川遊園の写真(市内資源発見活用事業登録物件)	36件
きしわだ自然資料館	【資料貸出】男里・新伝寺遺跡出土蛸壺	2点
熊取町生涯学習推進課	【資料貸出】阪和電鉄パンフレット	20点
いきいきネット相談支援センター	【資料貸出】高齢者の方々のコミュニケーションツールとしてパネル写真を使用(市内資源発見活用事業登録物件)	14件
地域包括支援センター 六尾の郷	【資料貸出】脳健康教室(回想法)の資料としてパネル写真を使用(市内資源発見活用事業登録物件)	70件
個人	【資料複写】刊行物「民具歳時記/道具とともに」への掲載(市内資源発見活用事業登録物件)	2件
産経新聞	【写真掲載・紹介】「砂川遊園展」の紹介記事掲載に伴う取材及び紙面への掲載(市内資源発見活用事業登録物件)	19件
読売新聞	【写真掲載・紹介】「砂川遊園展」の紹介記事掲載に伴う取材及び紙面への掲載(市内資源発見活用事業登録物件)	19件
市立信達小学校	【資料貸出】民具など社会科学習のために活用するための(市内資源発見活用事業登録物件)	9件
市立西信達小学校	【資料貸出】民具など社会科学習のために活用(市内資源発見活用事業登録物件)	9件
和歌山県立紀伊風土記の丘	【資料貸出】男里遺跡出土大型石包丁・石包丁	2点
地域包括支援センター 六尾の郷	【写真貸出】脳健康教室(回想法)の資料としてパネル写真を使用(市内資源発見活用事業登録物件)	74件
合計		276
【内訳】市内資源発見活用事業登録物件：252件、文化財の調査成果資料：24点		

視 察

月日	機関名	人数	備考
11月20日	斑鳩町教育委員会	6	史跡の整備と維持管理

4. 展示

常設展示

「海会寺跡」

内容 隣接する国史跡海会寺跡からの出土品のうち、国重要文化財指定物件を中心に展示。海会寺跡の歴史的価値をわかりやすく紹介。

企画展示

「思い出のせんなん写真展」

期間 4月26日～6月28日

内容 泉南市内で撮影された写真を持ち主の思い出を添えて紹介するほか、当時の暮らしの道具なども展示。あわせて市民などから写真を募集したが、今年度は展示期間中の応募がなかった。

「天恵の楽園 砂川遊園展」

期間 11月8日～3月31日

内容 昭和初期「第二の宝塚」を目指して開発された砂川遊園。当時の新聞・写真・パンフレットや、住民の方々の記憶をもとにそのあゆみを紹介。関連行事として講座2回、ワークショップ1回実施した。

5. 体験学習 「まいぶんクラブ」

内容 昔の暮らし体験を通じて、歴史文化への興味関心を持つきっかけを提供することが目的。ボランティアの協力は得ずに実施した。

① プラ板キーホルダーづくり 5/24（土）参加者 21 人

古代の文様をプラ板に写し取って、。トースターで加熱。

② 組みひもづくり 6/14（土）参加者 11 人

飛鳥時代などの組みひもの作り方でミサンガ作り。

③ まが玉づくり 6/28（土）参加者 26 人

まが玉の用途と持ち主について考えたのちに自由にマイ勾玉作り。

④ こすってアート 7/12（土）参加者 11 人

昔の道具をつかったフロッタージュでの作品づくり。

⑤ 割りばしゴム鉄砲づくり 7/29（火）参加者 25 人

むかしあそびの体験。割りばしを使った鉄砲作りとまと当て大会。

⑥ 組みひもづくり 8/5（火）参加者 46 人

飛鳥時代などの組みひもの作り方でミサンガ作り。

⑦ プラ板キーホルダーづくり 8/12（火）参加者 21 人

古代の文様をプラ板に写し取って、トースターで加熱。

⑧ まいぶん宝探し 8/19（火）参加者 14 人

宝探ししながらの施設見学（バックヤードツアー）。

⑨ ちょきんハニワづくり 8/26（火）参加者 47 人

ハニワの用途や役割を考えたのち、マイハニワ兼貯金箱づくり。

⑩ 弥生絵柄でマイバックづくり 11/8（土）参加者 7 人

弥生時代の絵柄をもとにしたハンコで、布バックづくり。

⑪ ツタ飾りづくり 11/22（土）参加者 16 人

史跡海会寺跡広場に生えるツタや木の実でのクラフト。

⑫ 年賀状作り 12/13（土）参加者 4 人

奈良時代以前の文様を使った消しゴムハンコで年賀状づくり。

⑬ カレンダーづくり 12/26（土）参加者 26 人

史跡海会寺跡広場に生えるツタや木の実でのクラフト。

⑭ 化石の教室 2/28（土）参加者 30 人*企画展ワークショップ

泉南市内で見つかる化石について、講座とレプリカづくり。



まいぶんクラブのようす

6. フィールドワーク 「歴史倶楽部」

事業開始十周年の今年度、昨年度に参加者の「行ってみたい場所」を見学。過去の見学時との変化を対比し、文化財の保護・保存の重要性を参加者と一緒に考えてみた（登録者数 52 名・ボランティア 4 名）。

①説明会 3/19（水）

②現地見学 1 4/9（水）「橿原市・明日香村」歩行距離 12 km

参加者 40 名（ボランティア 4 名） 近鉄橿原神宮前駅～軽寺～丸山古墳～植山古墳～菖蒲池古墳～天武持統天皇陵～鬼の俎・雪隠古墳～カナヅカ古墳～欽明天皇陵～飛鳥歴史公園～中尾山古墳～高松塚古墳壁画館～文武天皇陵～栗原寺跡～キトラ古墳～檜隈寺跡～近鉄飛鳥駅

③現地見学 2 5/4（水）「高槻市」歩行距離 8 km

参加者 36 名（ボランティア 3 名） 土室南バス停～継体天皇陵～番山古墳～新池遺跡・ハニワ工場公園～闘鶏山古墳～今城塚古墳・今城塚古代歴史館～芥川廃寺～嶋上郡衙跡～清福寺太子堂～西国街道・芥川宿～J R 高槻駅

④現地見学 3 5/28（水）「大和古墳群」歩行距離 12 km

参加者 36 名（ボランティア 4 名） JR 巻向駅～纏向遺跡～纏向石塚遺跡～箸墓古墳～ホケノ山古墳～慶運寺～珠城山古墳群～景行天皇陵（渋谷山古墳）～櫛山古墳～崇神天皇陵（行燈山古墳）～黒塚古墳（黒塚古墳展示館）～長岳寺～中山大塚古墳～燈籠山古墳～西殿塚古墳・東殿塚古墳～西山塚古墳～JR 長柄駅

⑤現地見学 4 6/11（水）「百舌鳥古墳群」歩行距離 10 km

参加者 38 名（ボランティア 4 名） 南海中百舌鳥駅～ニサンザイ古墳～百舌鳥八幡宮～高林家住宅～御廟山古墳～いたすけ古墳～履中天皇陵～堺市博物館～仁徳天皇陵～旧天王貯水池～方違神社～反正天皇陵～南海堺東駅

⑥現地見学 5 7/9（水）「吉野町」歩行距離 8 km

参加者 28 名（ボランティア 2 名） 近鉄吉野駅～吉野山ロープウェイ～金峯山寺～古水神社～五郎平茶屋園地～如意輪寺～稚児松地藏堂～<万葉の道>～象の小川～桜木神社～宮滝遺跡～吉野歴史資料館～（バス移動）～近鉄大和上市駅

⑦講義 1 8/6（水）講座「あるく・みる・考える」

参加者 41 名（ボランティア 3 名）

⑧現地見学 6 9/10（水）「伊丹市」歩行距離 10 km

参加者 38 名（ボランティア 4 名） J R 伊丹駅～有岡城跡～旧岡田家住宅・酒蔵～猪名野神社～伊丹緑道～伝和泉式部墓～臂岡八幡宮～緑ヶ丘公園～伊丹廃寺跡～くたんたん小道～昆陽池公園～伊丹市立博物館～<西国街道>～長寿蔵プルワリーミュージアム～J R 伊丹駅

⑨現地見学 7 10/8（水）「近江八幡市」歩行距離 8 km

参加者 23 名（ボランティア 3 名） J R 安土駅～安土城郭資料館～沙沙貴神社～旧伊庭家住宅～信長の館・安土城考古博物館～安土城跡～J R 安土駅

⑩現地見学 8 10/29（水）「大和郡山市」歩行距離 7 km

参加者 31 名（ボランティア 3 名） J R 郡山駅～外堀緑地北門～杉山小児科～郡山城跡～城跡公園～永慶寺～大納言塚～新木山古墳～金魚資料館～源九郎神社～旧川本邸～箱本館「紺屋」～J R 郡山駅

⑪現地見学 9 12/3（水）「高取町」*雨天により延期

歩行距離 8 km 参加者 22 名（ボランティア 3 名） 近鉄壺阪山駅～<バス移動>～壺阪寺～五百羅漢～高取城跡～上子島砂防公園～植村家長屋門～高取町観光案内所「夢創館」～近鉄壺阪山駅

⑫現地見学 10 12/10（水）「桜井市」歩行距離 11 km

参加者 24 名（ボランティア 3 名） 近鉄大和朝倉駅～忍坂 8・9 号墳

～舒明天皇陵～石位寺～赤坂天王山古墳～倉橋溜池～舞谷 2 号墳～秋殿南古墳～兜塚古墳～メスリ山古墳～コロコロ山古墳～谷首古墳～艸墓古墳～文殊院西・東古墳～近鉄・J R 桜井駅

⑬講座 2 まとめ 12/9（水）

参加者 38 名（ボランティア 2 名）



歴史倶楽部 現地見学のようす

7. 講座

■「山田家住宅の価値と泉南地域の民家の見どころ」

講師 大場 修さん（京都市立大学大学院）
内容 国有形登録文化財山田家住宅の価値づけを、近世民家研究の第一人者である講師が山田家住宅の主屋を会場に講演。
日時 4/20（日）13：30～15：00
会場 山田家住宅主屋（国有形登録文化財）
参加者 33名



山田家住宅での講演会のようす

企画展「砂川遊園」関連講座

■「砂川奇勝の話」 1/24（土）13：30～15：00参加者 43名

講師 濱塚 博さん（きしわだ自然資料館）
内容 砂川奇勝について地元出身の地質学の専門家が講演。

■「砂川遊園の話」 2/14（土）13：30～15：00参加者 17名

講師 生涯学習課職員
内容 砂川遊園の新聞記事や広告などをもとにその歩みを紹介。



企画展関連講座「砂川奇勝の話」のようす

8. 文化財普及啓発ボランティア

活動への参加を通じて文化財保護の必要性を認識してもらうことが目的。ボランティア活動の場と参加体験型学習への参画機会を提供することで、施設の新規利用者の獲得も見込まれる。

ご協力いただいた事業とその内容

対象事業	内 容	協力者数
フィールドワーク 歴史倶楽部	現地見学時の引率・説明補助	4人
まいぶんクラブほか 参加体験型学習	プログラムの企画・実施	0人
文化財活用促進事業	・ワークショップへの参加 ・イベントの企画実施	30人 約140人



ボランティアの皆さん

9. 市内資源発見活用（せんなんのたからもの）事業

泉南市に関連する文化遺産（広義の文化財＝せんなんのたからもの）の価値を最大化させることが目的である。住民と行政が、文化遺産の活用を通して文化財保護の必要性を共有することを目標とする。住民に地域への誇りを持つきっかけを提供することで、市域の活性化が見込まれる。現在3つの段階にわけて事業をすすめ、各段階ごとに目標を設定している。

段階1 文化財の認識をひろめる

「せんなんのたからもの」を公募する。「せんなんのたからもの」とは、時代や価値などの基準は設けず、①泉南市に関係するもので、②所有する人が大切だと思い、③活用したいとつよく思うものとする。登録物件は持ち主の所有とする。

目標

- ・住民に「せんなんのたからもの（広義の文化財）とは何か？」を考えるきっかけを提供する。
- ・「せんなんのたからもの」を公開する方法や活用方法について、所有者や利用者の要望を把握する。



せんなんのたからもの登録物件の活用のようす

段階2 情報を共有する

応募のあった「せんなんのたからもの」を随時閲覧可能な状態で公開することで、ひろく活用をうながす。公開する手段は、前段階で把握した所有者や利用者の要望を反映する。

- 目標
- ・利用者による主体的な活用をうながし、地域の宝としての認知をひろめる。
 - ・利用者の意見をもとに、具体的な活用形態を把握する。

【登録物件の活用について】

教育・生涯学習・地域活動の素材として、グループや個人が利用することをいい、活用方法は持ち主の承諾さえ得られれば特に制限はない。

段階3 利用者が活用しやすい環境をつくる

前段階で把握した具体的な活用形態を実現するために、エコミュージアム化など「せんなんのたからもの」を利用者が主体となり活用できる環境づくりをおこなう。

- 目標
- ・活用をきっかけとした人間関係の構築をうながし、維持発展させる。
 - ・泉南市らしい仕組み作りを行う。

行政による登録物件の公開

形態	名称など	内容	公開の方法など	その他公開方法	回数	件数
印刷物	広報せんなん	毎月掲載 登録物件を個別に紹介	全戸配布	泉南市ウェブサイト	12	12
展示	思い出のせんなん写真展	「せんなんのたからもの」の写真から約200枚を選び出し、当時の持ち主の思い出を添えて展示	会期：4/26～6/30 会場：埋蔵文化財センター		1	200
展示	天恵の楽園 砂川遊園	昭和初期「第二の宝塚」を目指して開発された砂川遊園。当時の新聞・写真・パンフレットや、住民の方々の記憶をもとにそのあゆみを紹介	会期：11/8～3/31 会場：埋蔵文化財センター		1	70

利用者による主体的な登録物件の活用

種類	月日	主体	活用の内容など	件数
庁内・生涯学習	4月18日	市立図書館	【資料複写】「砂川遊園のジオラマ」作成の参考資料として	36
事業者・高齢者	10月1日	いきいきネット相談支援センター	【資料貸出】高齢者の方々のコミュニケーションツールとして	14
事業者・高齢者	10月29日	地域包括支援センター六尾の郷	【資料貸出】脳健康教室（回想法）の使用として	70
個人・市外	11月22日	個人	【資料複写】刊行物「民具歳時記／道具とともに」への掲載	2
報道・新聞	12月18日	産経新聞	【資料複写】産経新聞12月8日付朝刊大阪府下版に記事掲載	19
報道・新聞	12月21日	読売新聞	【資料複写】読売新聞12月21日付大阪府府下版に記事掲載	19
学校教育・小学校	1月29日	市立信達小学校	【資料貸出】民具など社会科学習のために活用	9
学校教育・小学校	1月29日	市立西信達小学校	【資料貸出】民具など社会科学習のために活用	9
事業者・高齢者	2月27日	地域包括支援センター六尾の郷	【資料貸出】脳健康教室（回想法）の使用として	74
住民などにより 9回 ・ 252件 の登録物件が活用された				

10. 文化財活用促進事業

泉南らしい文化財保護の仕組みづくりを目的とする。住民などと、文化財の多面的な活用を継続的に実践し、プレーヤー増とオープンな参画を志向することで、「シビックプライド¹⁾」の醸成を目指す。今年度は以下の3事業を実施した。

- 1) 伊藤香織＋紫牟田伸子監修 2008『シビックプライド－都市のコミュニケーションをデザインする』

10-1. 海会寺ハスいっぱいプロジェクト事業

- ・「古代ハス（大賀ハス）の子どもたち」の栽培と、その場所の楽しみ方を住民とともに考え実践することで、史跡海会寺跡広場と、埋蔵文化財センターの利用促進を目的とする。
- ・将来的には海会寺跡と埋蔵文化財センターの利用方法を、住民側から提案し実践する自律的な組織作りを目標とする。
- ・事業内容の充実を目的とした住民参画の手法を志向することで、これまでにない施設の利用方法の提示が見込まれる。
- ・海会寺跡出土の軒丸瓦の文様が、ハスの花をモチーフであることに由来し、「飛鳥時代に、ハスの花（の軒丸瓦）でいっぱいだった史跡海会寺跡を、ふたたび！」をプロジェクトの合言葉とした。
- ・事業の周知と新たなプレーヤー獲得のため、お披露目イベント「ハスフェスタ」を実施した。
- ・事業終了後、泉南市商工会より出展依頼を受けた。12/14（日）に実施の「泉南マルシェ」にてプロジェクトの紹介と、ハスフェスタで人気プログラムだった「ハスの花の折り紙教室」を実施した。

事業概要
■本事業に参画した住民 約 120 名
■ワークショップの参加者 23 名（のべ 84 名）
内訳：5/8（15 名）、5/22（14 名）、6/5（7 名）、6/19（21 名）、6/26（14 名）、8/22（13 名）
■お披露目イベント「ハスフェスタ」（8/8）の参加者 約 500 人（内訳：来場者約 380 人・スタッフ約 120 人）
■本事業の紹介 産経新聞朝刊：泉州版（平成 26 年 8 月 8 日）
■事業への協力（公財）徳島県埋蔵文化財センター、大阪府脳と緑の総合事務所、長池オアシス管理会、一般財団法人小谷城郷土館、泉大津市立池上曽根弥生学習館、大阪ガス ガス科学館、大阪府立大型児童館ビッグバン、大阪府立弥生文化博物館、泉州・紀北ミュージアムネットワーク、きしわだ自然資料館、国登録有形文化財山田家住宅、公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター、子育て支援センターひだまり、泉南市文化協会、泉南市立信達中学校、泉南市識字教室、鳥取県立博物館、和歌山県立紀伊風土記の丘

10-2. 域学連携で取り組む文化財を活かした地域づくり

- ・文化財の積極的な活用を促すことで、自律的な文化財保護の仕組み作りを目的とする。
- ・域学連携の手法を志向することで、多様な活用方法の創造をめざす。
- ・阪南大学国際観光学部と泉研究室との連携事業とし、文化財を観光資源としてとらえ地域の活性化と文化財保護を両立できる仕組み作りのための継続的な取り組みとして実施することとした。
- ・大阪府府民文化部都市魅力創造局文化課および大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）には、事業実施にかかる支援を得ることができた。
- ・「せんなんタコ壺プロジェクト」としての企画の提示までで、平成 27 年度に継続して実施することとなった。

事業概要
■本事業に参画した住民 のべ 57 名
■阪南大学和泉研究室での授業よして実施した事業
7/28「情報の提供」場所：阪南大学
泉南市職員が学生に情報を提供。どのような地域資源があるのか、どのような活用の実績があるのかなど、講座形式でおこなった（関係者のみ）。
9/19「課題を探る」場所：埋蔵文化財センター
学生が住民と対話をとおして、地域の課題を探ることで、泉南市についての理解を深めるための機会。参加した住民からは、「自然と歴史的が点在する景観」がある一方で「まちを好きになるきっかけがない」などといった課題が提示された（一般参加）。
10/24・11/4「現地調査」場所：泉南市内
これまでに得た情報をもとに、現地を確認。岡田地区、樽井地区、ショッピングモールなどを見学した。
11/24「中間報告会」場所：阪南大学
企画のアウトラインを発表し、指導教官からの指導を受ける機会。泉南市職員も参加した（学生のみ）。
■ワークショップの参加者 住民 29 名（のべ 57 名）
内訳：9/19（住民 16 名・学生 9 名）、12/15（住民 29 名・学生 12 名）、3/10（住民 12 名・漁協関係者 2 名・阪南大学 1 名）
■企画の公開プレゼンテーション（12/15）の参加者 44 人（内訳：住民 29 人・学生 12 名・関係者 3 名）
■本事業の紹介 なし（「公開プレゼン実施」を泉佐野市政記者クラブに資料提供）

10-3 郷土カルタ作成事業

- ・住民が、「まちの魅力（＝文化財）」を認識するための、きっかけと場と機会の創造を目的とする。
- ・「誰でもウェルカム」のオープンでフラットな場でのカルタづくりを志向することで、ひとりでも多くの住民が「まちの魅了（＝文化財）」発信の担い手となることが見込まれる。
- ・市内の複数の部署（図書館、産業観光課、人権推進課）との連携事業として実施することとなった。
- ・国語部会との協議により、市内小学校全校でカルタの句づくりを実施することとなった。
- ・カルタ作成にかかる内容の絞り込み、絵や句の作成などの作業は、平成 27 年度に実施することとなった。

事業概要
■本事業に参画した住民 のべ 63 名
■ワークショップの参加者 13 名（のべ 63 名）
内訳：11/19（11 名）、12/3（11 名）、12/17（12 名）、1/14（13 名）、2/6（8 名）、3/11（8 名）
■本事業の紹介 なし（資料提供せず）

01

海会寺ハスいっぱいプロジェクト 2014 ニュースレター

第1回 ワークショップ

まずは話し合う

日時：平成 26 年 5 月 8 日（木）

10：30～12：00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：15 名

■スケジュール

10：30 あいさつ

10：35 事業趣旨の説明

10：50 話し合い・ハスの花見学

12：00 終了

■まずは意見交換から 事業趣旨の説明や進め方の説明の後は予定を変更し、お集まりいただいた方々同士での、意見交換をじっくりと実施しました。不安や期待、各自の思いなどを、とにかく各自発言してもらったことで、次への準備体制になったのではないかと思います。

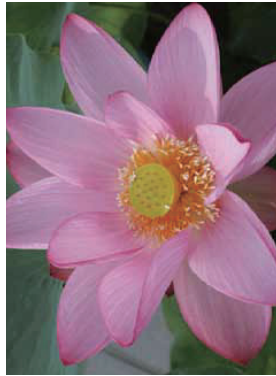


「海会寺ハスいっぱいプロジェクト」とは？

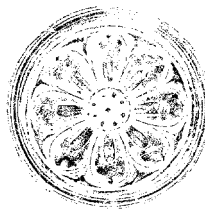
埋蔵文化財センターで、古代ハスを栽培し多くの方々が楽しめる場づくりをはじめます。ハスの花のある空間（埋蔵文化財センター）の楽しみ方を考え、実践するとりくみにしたいと考えています。育て、ハスの花（の軒丸瓦）を思い描いた海会寺跡を増やして、楽しんで、ハスの花で埋文と海会寺のあつた史跡公園をいっぱいしよう！が目標です。

育てるハスは当時のもの

栽培するのは古代ハスとして知られる「大賀ハス」の子どもたち（大賀ハスの子世代のレンコン）。約 2000 年前の地層から見つかったとされるものです。レンコンが特産の徳島県板野郡板野町にある徳島県立埋蔵文化財センターから譲っていただきました。



昨年の「大賀ハス」最初に咲いたハス
(徳島県立埋蔵文化財センター提供：平成 25 年 6 月 27 日)



海会寺の軒先を飾った
ハスの花の文様の軒丸瓦

ハスの花でいっぱいだった海会寺を再び

かつての海会寺は、ハスの花をモチーフにした軒丸瓦でいっぱいでした。この取り組みは、ふたたび海会寺跡をハスの



埋文で再現に？生育中のハス
移動可能なコンテナで栽培してみました

■とにかくはじめてみよう

事務局からの事業趣旨の説明のあと、ワークショップ参加者から出た意見は、「ほんとに咲くのか?」といった不安まじりの質問も。当初の予定を変更して、まずはじっくり意見交換をすることにしました。

主な質問は、「8/8 のイベント開催時に本当に花が咲くのか」、「ハスをどこに植えるのか?」、「イタズラされないか不安」、「花の大きさは?」、「どうやって育てるのか?」、「今のものより色が地味なのでは?」、「一株でいくつ花が咲くのか（見栄えはどうか）」といったものです。

また、「花が咲かずとも」浮葉を楽しんでみたら、

■次回以降のごあんない

8/8 の「ハスまつり（仮称）」にむけて

ハスのある場所を楽しむ工夫を、皆さんのアイデアを出し合って、形にして実践します。ワークショップの予定は次のとおりです。途中参加も大歓迎です。

2 回目「目標の設定」

平成 26 年 5 月 22 日（木）午前 10 時～正午

3 回目「アイデア出し」

平成 26 年 6 月 5 日（木）午前 10 時～正午

4 回目「やりたいことを具体的に」

平成 26 年 6 月 19 日（木）午前 10 時～正午

5 回目「プログラムにしてみる」

平成 26 年 6 月 26 日（木）午前 10 時～正午

*いずれも場所：泉南市埋蔵文化財センター

といった意見や、「コンテナではなく、大きなところに植えてみよう」といった提案もありました。とにかくはじめてみようかといった雰囲気です。

■「咲くかもしれない」を楽しむ場づくり

不安だけでなく、しかも誰にも分らないこともあるので、「咲いたらラッキー、浮葉でも楽しめる」をモットーに、とりあえずはじめてみることにしました。今年度は 7 株ですが、将来的には「海会寺跡と埋文をハスでいっぱい」が野望です。

そこで意識したいのが「古代ハス」と海会寺とのかわり。「ハスだけでなくどこにでもある」ものなので、海会寺とハスとのかわわりを意識した場づくりが必要なのではという提案がありました。

■「育てる過程を楽しむ」

ハスを育てるのは、埋文にあるレンガのかまどベンチ前。午前中はベンチ部分が日陰になるので、ハスの育つ様子を、日陰のベンチに座って、じっくり観察することもできます。

■目標は 8/8 の「ハスまつり（仮称）」

8 月 8 日に開催する「ハス祭り（仮称）」のアイデアにも話は及びました。「何人ぐらいの来場を見込んでいるのか?」（＝ 100 名ぐらいを想定）」といった質問から、「早朝に開花するときの音を聞く会（早朝にポンという音をたてて開花することのこと）」や、お祭りの要素を取り入れてはとの提案もありました。

次回ご参加いただける方へ 宿題です

今回は、今回の取り組みの目標を考えてみます。つまり、ハスのある場所を…①どんな人を楽しんでもらいたいのか?、②どうしたらその人たちに楽しんでもらえるのか?、③ほかに意識すべきことはないのか?です。

ちよこつと頭の片隅で考えてみてください。

この取り組みに参加してみたい方大歓迎です！

問合せ・ご意見は、
泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789

メールアドレス：malbun@city.senjan.lg.jp

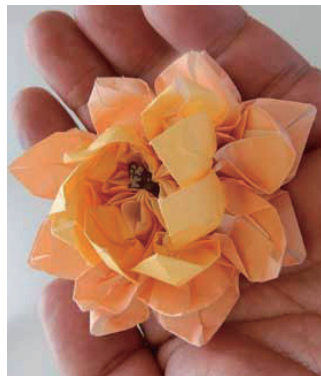
02 いろんな人に見てもらおう？ どうすれば来てくれる？

日時：平成26年5月22日（木）

10：00～12：00

場所：泉南市理蔵文化財センター

参加人数：14名



ハスの花の折り紙。花が咲かべんのやったら、こんなふうにつくってみたらどう？と、ワークショップの参加者が持ってきてくれました。

■はなしの前提をきめる■

ハスそのものと、ハスのある場所を楽しんでもらう

何を楽しんでもらうのかを、全員で考えてみました。結果、ハスそのものと、ハスのある場所を楽しんでもらうことを前提に話し合いをすることに決定。ハスの花だけにこだわることではなく、葉っぱでもOK。ハスのある場所を、ハスとは関係のない内容のプログラムをすることで、埋文という場所を楽しんでもらうこともOKとなりました。

■誰に楽しんでもらうか？を考える■

ハスと、ハスのある場所を楽しんでもらいたいのはどんな人か？ワークショップのメンバーが思い描く「こんな人に見てもらいたい」をまとめてみました。目標は一人10枚です。

小学生から老人まで、家族でも

いっばい多かったの「小学生」。ほかに「幼児」、「幼稚園児」「小学校3年生以下」「中学生」のほか「わ

ハスは子どもにとっても身近な存在かも？

子どもが大好きなポケットモンスターに、「ハスブレロ」というキャラがいいます→

どんなキャラクターか
ご覧いただきたい方へ
インターネットで
「ハスブレロ」
を検索！

■スケジュール■

10：00 ふりかえり

10：10 話し合い

・はなしの前提をきめる

・どんな人を楽しんでもらいたい？

・どうすれば楽しんで（見に来て）くれる？

・ほかに意識することはあるか？

11：40 話し合った内容の確認

12：00 終了

■この日のながれ 前回の話し合いで、花は咲くのかなど、不安なところはあるものの、「とにかくはじめてみよう」となった取り組み。この日は、ハスのある場所を…①どんな人たちに楽しんでもらいたいか、②どんなことをすればその人たちは楽しんで（ハスのある場所に来て）くれるか、③そのほかに意識することはあるか？です。

できるかどうかは後回しにして、まずはやってみたいアイデアを出してもらいました。

か子」という意見も。

「大人」に楽しんでもらいたいという意見のなかには、「50歳～60歳」や「60歳～70歳」といった年齢層をかなり限定した意見も。

「老人」という意見には「施設に入所している方」も含まれています。車いすでも楽に見てもらえるようにしたいという気配りもありました。

「一緒にやってくれそうな人」にも来てもらおう

「イベントがしたい人」、「遊び心のある人」、「地域サークル」、「女性のコーラスグループ」などがありまし。言い換えれば、この取組みの企画段階から、一緒にやってくれそうな人と言えるのかもかもしれません。

お客さんとして楽しんでもらおう

ほかに、「歴史好き」と「これまで埋文にきたことのない人」、「地元の人」と「外国人」、「花・植物の好きな人」、「古代ハスのレンコンを食べてみたい」、「学校の先生」など。



■どんなことをすれば楽しんでくれるか■

先ほど考えた、楽しんで（来て）もらいたい人を意識しながら考えてみました。苦戦しながら…

「子ども」に楽しんでもらうアイデアは10以上

「ハスの折り紙」、「ハスの葉を使った工作」、「ハスの葉を使ったお皿で何かを食べる」、「ハスの花の観察」、「お絵かき」に「ぬりえ」、「ゲームかクイズ」など。ハスそのものを使ったもののほか、カブトムシや鈴虫の展示、魚の展示（ハスの樽の中でメダカを買う）などの展示、3/15のかまど開きでできたプログラムのうち「人気が高かったもの」を実施しようといったものや、「プレゼントを用意しよう」という意見も。

ハスより団子、たくさん来てもらうことも大切！

花もいいが、やはり食べ物が必要との意見です。花が好きでない人も、食べ物があれば楽しめるはず。ハスにこだわって、「ハスのパン（花のかたちや、実を散らすなど）」、「ハスの葉をお皿にしてお菓子をだす」との意見のほか、「餅つき」、「お茶をたてる」、「ソーマン流し」、「かき氷」、「焼きそば」などの意見も。

ハス葉っぱで飲み物も！

大人が楽しめる工夫として、茎が中空のハスを使って、「ハス酒」。もしくはそれに類するものを用意いかと盛り上がりまりました。要検討ですが…

やはり展示に講演会も！

歴史が好きなお方、親子連れ、花が好きな方には、ハスの花のこと、古代ハスのこと、海会寺の瓦がハスの花をモチーフにしていることなどがわかる、「パネル展示」や「講座」、「説明会」が必要との意見。

ハスを見ながら風鈴を聞く！

大人と子どもに楽しんでもらうための工夫。夏の音といえば風鈴。ハスのある場所であくさんの風鈴

この取り組みに参加してみたい方
大歓迎です！

問合せ：ご意見は、泉南市理蔵文化財センターまで

を吊るして、風鈴の奏でお音を楽しんでみるのもいいかもしれません。涼しい風と音を聞きながらハスを眺めるのもいいかもしれません。

歌声と演奏と

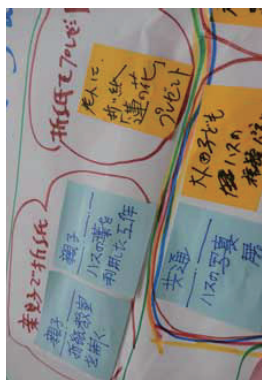
埋文を利用したことのない人にとって、ほかの目的でもいいからとにかく来てもらうための工夫。「合唱」や「吹奏楽」などが候補として挙げられました。

触れ合いの場、散歩コースに！

地元の人にとっては、日常のなかに落とし込んでもらう工夫が必要なのかもしれません。ハスの名所を巡る散策マップなどをつくって、散歩コースにしてみようというものです。

老人に来てもらうために、ディセンターに呼びかけ！

ディサービズを利用する方々に利用してもらうには、施設に来場を促すのが一番ではないかとの意見。帰りにハスの折り紙をお土産にするのもいいかもしれません。



■次回までの宿題 もう一度考えます■

ハスのある場所を…①どんな人を楽しんでもらいたいか？、②どうしたらその人たちに楽しんでもらえるのか？、③ほかに意識すべきことはないのか？です。ちよこつと頭の片隅で考えてみてください。

■次回以降のであんない■

3回目「アイディアだし」

平成26年 6月5日（木）午前10時～正午

4回目「やりたいことを具体的に」

平成26年 6月19日（木）午前10時～正午

5回目「プログラムにしてみる」

平成26年 6月26日（木）午前10時～正午

※いずれも場所：泉南市理蔵文化財センター

03

徳島県埋蔵文化財センターからの手紙

**徳島では、昨年夏にハスを育てて
こんな成果がありました！**



■徳島県からのお手紙です！ 今回の取り組みに、ご支援いただいている（公財）徳島県埋蔵文化財センター。大賀ハスのレンコンを分けてもらったお礼もかねて、これまでのワークショップの経過を報告したところ…お手紙をいただきました。

昨年度の徳島での取り組みと、その成果などのほか、写真もお送りいただきました。新聞に取り上げられるなど、かなりの反響があったとのこと

これからの取り組みに、とても参考になる内容なので、ニュースレターにしてご紹介します。

泉南市の皆さま

ニュースレターありがとうございます。熱心な取り組みをなされているみたいですね。

当センターでは、「ハス」を目標にてセンターに求められた方は、6月～7月で1000人程度でした。（年間の来所者数が7700人程度の施設なので、ハスバブルでした。）

花が咲いたときに、新聞（徳島新聞という地元紙）の一面に掲載してもらえて、その効果は非常に大きかったです。

地元板野町の方や県内各地、阿南市や美馬市などセンターから車で1時間以上かかる人もたくさん来られました。

- ・栽培については、水草が大量に発生するのでその除去に手間がかかりました。
- ・夏になると水温が高くなります。どれぐらいが危険な温度なのかは把握してません。
- ・同時に水が蒸発する速度も速いので、冷却の意図もあって頻繁に注水する必要があります。
- ・センターは9:30開所、月曜日休みなのですが、ハスは朝早く咲くので7時ごろから見学者がこ

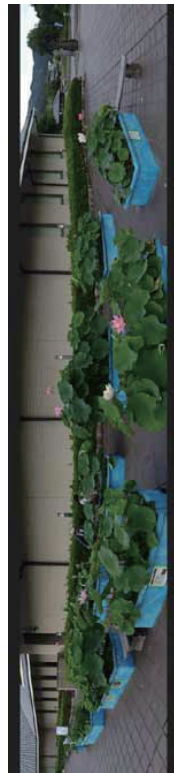
られましたので、職員は早めに出動し説明対応しました。

ハスが咲くのに月曜日も休所日もないことから、月曜日も臨時開所しました。

- ・花は6月末に一つ目が咲いたのですが、最盛期は7月下旬から8月上旬で、最期の花は8月下旬となりました。
- ・最盛期では1日に20輪ほど花が咲く日もありました。

平成25年度は花がたくさん咲いた（200輪ぐらい）途中で数えるのやめました）よう、今年は裏作みたいなもので、反動で少ないのではないかと懸念しています。

- ・見学者は、花好きな方が中心でした。（老若男女です）初めて埋文センターにきたという方も、結構いました。
- ・子どもには、花の位置が高いので見えにくいようでした。ベンチを台にして見やすくするなど工夫が要りそうです。
- ・アマチュア写真家が大勢来られました。板野町はハス畑が広がっていて、花も珍しいのですが、農家の方に迷惑がかかるので自重される人が多い



新聞に掲載されたのもあって、ハスを求めて遠くからもやってきたとか！
（公財）徳島県埋蔵文化財センター提供



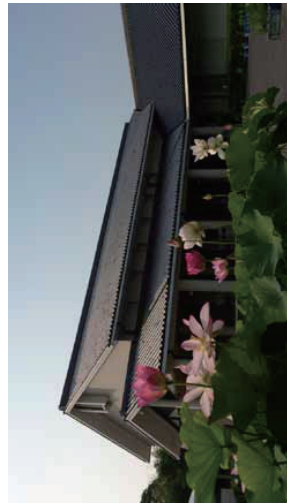
最盛期は7月下旬から8月上旬、一日に20輪ほど咲く日も
（公財）徳島県埋蔵文化財センター提供

いようです。

当センターのハスであれば接近しての撮影ができるのもが魅力のようです。

- ・俳句を詠みに来られた来所者もいらっしゃいました。
- ・ハスの種がたくさんで、配布していいかどうかという方も多のですが、配布していいかどうかはちょっと悩んでいます。
- ・「大賀ハス」とは呼べないとしていますが、大賀ハスだと認識して栽培されると、種の保存の観点などに問題が生じる可能性があるからです。
- ・いたずらについては、実害はないですが、お盆の時期にはハス花泥棒がいるといわれます。【そのため、レンコン農家のかたはハス畑に他人が入るのを嫌がるようです】
- ・ハスの利用としては、ハス茶やレンコンクッキーなどがあります。これは現在のハスの葉やレンコンを利用したものです。
- ・花が咲く時に「ポン」と音がするの？という質問はよくされました。

私も聞いたことがありませんので何とも言えませんが、レンコン農家の方のコメントでは「花が咲く時期は朝方うる



昨年の取り組みがきっかけで、板野町名物にしようとの計画が進んでいるそうです。
（公財）徳島県埋蔵文化財センター提供

さくで寝れんわ」とニヤニヤしてました。

藩が膨らんで、明日の朝には咲くだろうという花を狙って、一度朝の5時ごろに確認しに行きました。

ですが、すでに咲いており、確認できませんでした。

- ・もって朝早いのでしょうか。。。
 - ・古代ハスと現代のハスの違いは？
- 大賀ハスの特徴など聞かれます。大賀ハスの特徴はネットでも検索できるので

が、実物を見たことがないので説得力はありません。

- ・ハス水槽には、メダカを放しています。ボウフラの発生を抑えてくれるので、蚊刺され対策にもなります。

花のない時期には、子どもがメダカを見つけて喜んでいます。

あと、ヤゴやオタマジャクシなども知らない間に発生しており、小さなビオトープとしても面白いかもしれません。

- ・地元板野町の方の「埋文古代ハス」の認知度は割と高いようです。

住民のかたは板野町の名物にしよう、休耕田への移転を役場や町会議員さんと一緒に計画する動きもみられるようになりました。

長文失礼しました。開花や会場の様子の写真も添付します。（2014.5.28 メールにて）

主役のハスも、こんなに大きくなりました!!
花壇は確認できませんが……

海会寺ハスいっばいプロジェクト2014 ニュースレター

04 第3回 ワークショップ どんな人に見てもらおう? どうすれば来られる?

日時：平成26年6月5日(木) 10:00～12:15

場所：泉南市埋蔵文化財センター 参加人数：7名

■スケジュール

10:00 ふりかえり

10:10 プログラムをもう一度よく考えてみる

①「四角を埋めながら考える」

②「ハスの成長を意識して考える」

12:15 終了

■この日のながれ

前回の話し合いでは、ハスのある場所を……①どんな人に楽しんでももらいたいのか?、②どうしたらその人たちに楽しんでももらえるのか?アイデアを出してもらいましたが……話が広がったままの状態でした。前回の話を前提に、プログラムの絞り込みや、合休がでないものか考えました。絞り込むためのキーワードは要素はふたつ。「誰に」と「いつ」です。

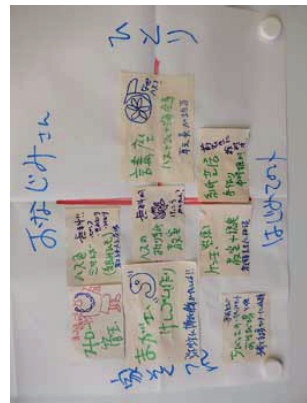
■「誰に」を意識してプログラムを再考■

皆さんが思う「誰に」で、4つの四角を作りました

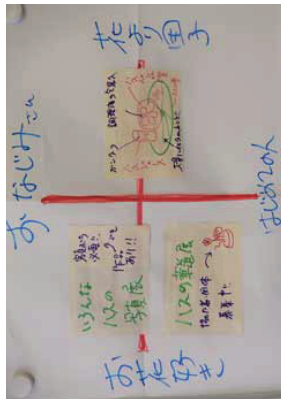
前回考えた「誰に楽しんでももらいたいのか?」。どれも具体的な意見でよくわかったのですが……一人10枚がノルマだったので、意見が多すぎて、結局「みんなに楽しんでもらいたい」にみえる結果に。

焦点を絞った方が話しやすいので、事務局の切断で、「誰に」を次のように整理しました。

写真のように、相反する属性を縦横の軸にの四角を作成。「おなじみさん」(歴史好き) ↔ 「はじめての人」(歴史に興味の薄い人) を共通の分類項目にして、4つの四角をつくりまりました。それぞれの横軸が、「子ども」 ↔ 「お年寄り」のもの、「家族連れ」 ↔ 「おひとり」のもの、「お花(ハス)好き」 ↔ 「花(ハス)より団子」のもの、「お客さん(ゲスト)」 ↔ 「一緒に取り組んでくれる人(将来的スタッフ)」のものです。



「家族連れ」で来場が、「ひとり」で来場が



「花好き」の方も、「花より団子」の方を楽しめるプログラム

イント。合体させてひとつのプログラムに。「お年寄り」で「おなじみ」の方には、ハスの花の折り紙のプレゼント。「はじめての人」には、風呂敷の正しい使い方講座。目からうろこの講座です。

「花好き」の方も、「花より団子」の方も

ハスの花を目当てに来る「お花好き」には、展示を用意。いろんなハスの写真展と、蓮の花のいけばな展で、いずれも協力者を募ることにしました。「花(ハス)より団子」の方には、ハスに由来の食べ物と飲み物を用意。候補は、ハスの実/バンナムハスの実/アデア優先の案なので、実現可能か?ほんとにあるのか?しっかり調べてみよう。

「お客さん」か「一緒に取り組んでくれる人」か

来場者の大半は「お客さん」。楽しそう!楽しい!やってみたい!のプログラムを集めました。一方、一番大事な「一緒に取り組んでくれる人」にはリクルートも意識。市内では吹奏楽やマンドリンなどの部活動が活発……なので市内の演奏活動をするグループに声をかけることに。発表の場としての利用が見えるからです。

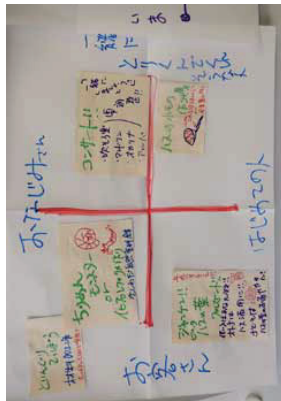
ハスの利用方法として、ハスをつかったクラフト展も実施。将来的には育てたハスを「使いたおす!」を目標に、多様な人や団体がアイデアを持ち寄って実現できる場を作っておきたいからです。

■「いつ」を意識してプログラムを再考

ハスの育つ様子を楽しむプログラム

ハスの育つ様子や育てる過程を楽しむプログラムがないものか、考えてみました。

候補は、前回のアイデアにあった「風鈴を吊るす」、「ハスの塗り絵」、「ハスのお絵かきコンクール」、「透明の水桶にハスを植えて、メダカを育てる」、「日陰をつくる」などです。



「お客さん」か「一緒に取り組んでくれる人」か意識したプログラム

結果、以下の案に決定。①日陰で風鈴の音色を聴きながらハスを鑑賞できる場を作る(透明の水桶もここに設置)。②ハスの育つ様子を、自由にスケッチし、日にち順に館内に展示。①は風鈴と水桶を提供してくれる人を呼びかけ、お日陰の設置は期間を設けるかどうか検討することに。②は7月開始に決定です。

【その他の話し合い項目】

- ①建築されたプログラムのうち、実施しないプログラムは11.主に屋外のもので、「衛生面に不安あり」などの理由で送ることにしました。
- ②夏頃は「誰に」によって方法を分けを意図。
- ③市広域7月時にハスの紹介と事業への協力依頼を呼びかけることに。

ハスの開花前からはじめるプログラム

■次回までの宿題 具体的に考える■

プログラムを実施する場所と、時間帯、協力してくれるスタッフの数を意識して、絞り込み。場所は原則、館内。使えるのは埋文の2階部分。実施時間は午前10時から午後3時を予定です。

■次回以降のごあんない■

4回目「やりたいたいことを具体的に」

平成26年 6月19日(木) 午前10時～正午

5回目「プログラムにしてみる」

平成26年 6月26日(木) 午前10時～正午

※いずれも場所：泉南市埋蔵文化財センター

この取り組みに参加してみたい方

大歓迎です!

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

TEL:072-483-6789

メールアドレス: mabun@city.sennan.jp

05

第4回 ワークショップ

やってみたいことを
具体的に考えてみる！

日時：平成26年6月19日（木）10：00～11：50

場所：泉南市埋蔵文化財センター 参加人数：21名

■スケジュール

10：00 ふりかえり

10：10 ①自主プログラムと、依頼プログラムを分ける。→本場にやりたいものを残す。

②依頼プログラムのうち、お任せできるものと、そうでないものを分ける。→できるものを残す。

③自主プログラムのうち、自分たちでできるものと、そうでないものを分ける。→自分たちで、できるものだけ残す。

④各プログラムの担当を決める。→立候補。⑤各担当でちょっとだけ話し合い。

11：50 終了

■この日のなぐれ

前回までに出たプログラム案は32。ちよつと荷が重すぎます。

ですので、「あったらしいな」のプログラマではなく、「これならできる」のプログラマを選び、担当を決めるのが今日の目標。

本場にやりたいプログラマはどれか、自分ができるプログラマはどれかを意識しながら考えました。



↑最初の花芽
6月16日に1きんが発見
6月24日に2個目が出ました！



↑およそ2時間の話し合いでまとめた、88のイベント案。担当もほぼ決まっています！

■話し合いの結果、絞られたプログラム（タイトルは事務局で仮につけたものです）

■プレイベント（平成26年7月初旬から8月）

「ハスのお絵かき展示会」、「風鈴を聞きながらハスを眺めるベンチ」、「ハスの写真展」、「ハスのクラボ展」、「空きクラボ展」

■ハスまつり（平成26年8月8日）

屋外の自主プログラム（案）

「落書きハンザイ！」

屋内の自主プログラム（案）

「ハス色ミサンガづくり」、「ストロー管玉のネットスズづくり」、「ハスの折り紙教室」、「おじいちゃんとおかしあそび」、「なりきり！原始人」、「子どもお茶会」、「生け花展」、「ハスのパンと飲み物の販売」、「ハスと海会寺の話」

「お願にらくがき」フェイクペインティング【協力：大阪府立大型児童館ビッグバン】、「風呂敷のつかい方教室」【協力：小谷城郷土館】、「紀伊風土記の丘」【協力：和歌山県立紀伊風土記の丘】、「作ろう！世界で一つの消しゴムまが玉」【協力：大阪府立弥生文化博物館】、「化石のレプリカづくり」もしくは「チリメンモンスター」【協力：きしわだ自然資料館】、「親子遊び」【協力：子育て支援センターひだまり】、「マンドリンの調べ」【協力：信達中学校】、「おでかけガス科学館」【協力：大阪ガス ガス科学館】、「みんなであそぼう」【協力：いずみバント】、「けん玉教室」【協力：けん玉名人】

■熊取町でハスまつりが開催されます

「長池オアシスハスまつり」

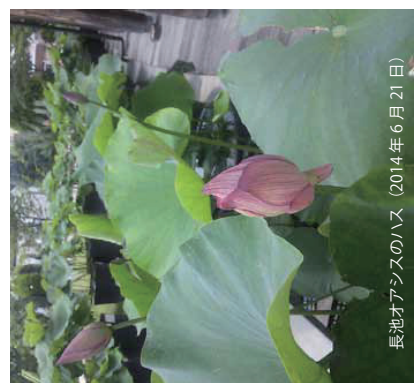
日時 7月13日（日）午前8時～正午（雨天中止）
ハス酒（象鼻盃）、ハスの実ぜんざい、野点（各100円）、ハス茶（無料）、タオル、花苗他の販売、クイズラリー、フラダンス

*会場に駐車場はありません。

所在地：大阪府泉南郡熊取町長池3

アクセス：JR 阪和線熊取駅より・南海ウィングバス「大阪体育大学前・熊取駅」・つばさ丘方面行き

熊取団地バス停 下車徒歩1分



長池オアシスのハス（2014年6月21日）

■次回ハスのパンの試食ができます！

さんさんバーカリーの山崎さんと相談しながらつくった特製パンです。「夏にぴったり」の酸味のあるクリームに、ハスの実甘納豆のトッピング。花の形をしたパンです。ご期待ください！

■宿題です

担当が決まっている人は…

コーナーのタイトルと、簡単な説明を考えてみてください。たとえば、組みひもの場合なら、タイトルは「やりたい放題！昔のアクセサリーづくり」、内容の説明文は「昔のアクセサリーを、作りたい放題！好きな色をつかっていくつでも作れます」といった感じ。プログラムを実施する際の指針になるようなものです。

担当が決まっている人は…

このニュースレターに掲載されているプログラムのうちどれをやってみたいか考えてみてください。

■次回のご案内

5回目「プログラムにしてみる」

平成26年 6月26日（木）午前10時～正午

*場所：泉南市埋蔵文化財センター

【終了後にお食事をします】

これまでは、必要なことだけしか話し合うことがなかったですが、雑談をしながら、ご飯を食べながら、一緒に時間を過ごしてみませんか？（各自でお弁当と、お茶をご用意ください。）

この取り組みに参加してみたい方大歓迎です！問合せ・ご意見は、埋蔵文化財センターまで
メールアドレス：maibun@city.semah.jp
TEL072-483-6789

07 教えてもらいました！ ハスの育て方と 熊取町での取り組み

ハスの育て方 専門家に教えてもらいました まがった茎が目立ってきた古代ハス（の子どもたち）。どうしてなのか？育て方を含め、専門家の話を聞くことができました（7/3）。



■たくさん出てきた まがった茎

6月半ば頃（化成肥料をはじめてやってた後）から、茎の曲がったハスが目につくように。そのうちに、まがった茎は増えていき、6鉢あるハスのうち、3鉢がまがった茎になり、3つめの花芽も、まがった茎に。ハス育成チームの方を通じて、大阪府農と緑の総合事務所の方に、まがった茎の原因などを教えてもらうことができました。

■傷が原因かも

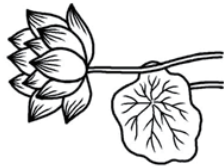
まず考えられるのは、茎に傷がついたため。虫が穴をあけたり、水中の貝が傷をつけることがあるそうです。傷がつくと、その部分だけ発育が悪くなり、まわりの部分と成長に差が出て、まがってしまうそうです。

この場合、まがっているところをよく見ると、傷が覗いていることが多いそうです。

あとは、水中をよく探してみてもこのこと。タニシのような巻貝の小さいヤツがあれば、犯人はおそらくその貝だとのこと。

■ウィルスが原因の場合も

他に考えられるのは、ウィルスなど。葉や茎が小さく、他のものと比べて極端に発育が悪かったりする場合、ウィルスなどの理由も考えられるぞ



うです。このような株は、次の年に植え替えは行わない方がいいそうです。どの株なのかは、発育状態が極端に違うので一目瞭然になるはず、とのことです。今現在でも、葉が小さく、茎が細い株が確認できます。

■8月まではどんだん成長、葉・花＝1：1

7月初旬の時点では、葉が少なくくちよっと寂しい野ですが、これから葉がたくさん茂るそうです。「花芽は？」との質問には、葉1本に花芽1つが基本だとのこと。うまく育てることができれば、葉と花が1：1になるはずだそうです。

■植え替えは毎年、レンコンは美味いかも

花をつけるため、必要な作業。毎年5月の連休までには行っておく作業。3フシで1鉢が目安です。注意するのは、水を絶やさないこと（凍らせないため）。土は「田んぼの土が一番いい」そうで、肥料は「ロンダ」が便利だと。水温は高い方が発育がよく、鉢で植えている場合も、照り返しなどは特に注意する必要もないそうです。レンコンは「細いタイプなので、美味しいはず、食べてみて」とのこと。

熊取町での取り組みー長池オアシス

泉南地域でハスの名所といえば、熊取町の長池オアシス。20年ほど前のため池整備の段階から、住民の方が主体的にかかわっています。ここで行われた「ハスまつり」で、この取り組みを熱心に行っている住民の方にお話を聞くことができました（7/13）。

■長池オアシスってなに？

長池オアシス管理会の広報担当の方に、お話を聞くことができました。長池オアシスは、新興住宅地の中にあるため池で、20年ほど前に、府と町で整備した水辺の公園のような施設。ウッドデッキや遊歩道のほか、管理棟やハス池などがあります。



↑長池オアシスに植えられたハス（緑の部分）がハス

日常的な管理は、周辺住民で組織する長池オアシス管理会が実施。

*詳しくは「長池オアシス」でインターネットで検索（<http://www.eonet.ne.jp/~nagaakeoasis/>）。

■泉南をハスでいっぱいにしましょう！

その方によると、町中でも、ため池でハスを育てる取り組みが始めているとのこと。ハスの栽培を、泉南一帯にひろめ、「泉南一帯をハスの花でいっぱいしましょう」との野望を持っているとか。さらに、話はずみ「色んなところのハスを見て歩く、泉南ハスめぐりをしましょう！」「育て方など、なんでも情報交換しましょう！」「合同研修に行きましょう！」「一緒に夢を見ましょう！」と、とても熱心な方でした。

■住民の手作りー長池オアシスのハスまつり

主催は、長池オアシス管理会。スタッフの皆さんは、長池オアシスが印象的でした。ハスの実げんや、ハス茶、ハス酒（象鼻杯）、などハスをテーマに、ハスまつりを開催するそうです。

■8月8日は、午前9時集合です

今回は、ハスフェスタ。暑い時期ですので、体調が悪い場合など、遠慮なくおっしゃってください。

- 集合時間 8/8（金）9：00
- 集合場所 埋蔵文化財センター
- 持ち物 昼食（申し訳ありません！）
- 服装 暑いので、くれぐれも軽装で

この取り組みに参加してみたい方大歓迎です！ 問合せ・ご意見は、埋蔵文化財センターまで
TEL.072-483-0789 メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp



↑管理棟前に並べられたハス。サンボットを使って栽培

マにしたプログラムも。ハスの実げんざいに使われている実、ハス酒に使うハスの葉は、長池で育てたハスからとったものだとのこと。あいにくの暑い空にもかかわらず、たくさんの人でした。

■教えてもらいました！

ハスを育てるのにびったりの植木鉢

長池オアシスでは、大きな円形の植木鉢でハスを育てています。これは「サンボット」という商品で、大きさは65リットルのもの。がないものがあるので、ハスを育てるのにびったりです（1個で3000円ほど）。

【提案があります！】タライでハスを育てては？

ワークショップのメンバーから、ハスをつかったワークショップの提案がありました。ふるいタライを直して、ハス栽培に利用。ふるいタライは当然タガが緩んでいるので...直して使います（＝タガを締める体験教室）。対象は子ども。これなら、市内の家庭に、古代ハス（の子どもたち）の栽培がひろがるかも？

【商工会から】泉南マルシェに展示しませんか？

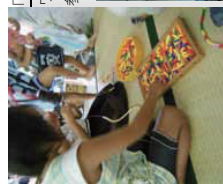
12/14に開催する泉南マルシェに、ハスの折り紙教室や、ハス色ミサンガづくりを出版してみませんか？との提案がありました。皆さんの取り組みを知った泉南商工会の担当の方からです。8/8のイベント後ですが、今回の取り組みを、たくさんの方に知ってもらう機会。興味ありの方は「まいぶん」まで。

08 無事に終了!! ハスフェスタ

6回のワークショップで話し合い、準備してきたハスフェスタ。古代ハスの子どもたちの花は、持たなかったものの、たくさんの方々が来場者で賑わいました。当日は曇り空にもかかわらず、来場者は約500名。親子連れの来場者が多く、複数のプログラムを一日楽しんで帰られる方も結構いたようです(8/8)。



「古代ハスの子どもたち」
ワークショップメンバー
初年度から開花に成功!



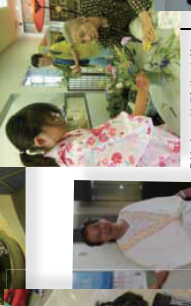
「ストローネックレスづくり」
ワークショップメンバー
参加者 112名



「親子遊び」
子育て支援センターひだまり
参加者 24名
「古代ハスの朝露でお習字展」
泉南市識字教室
200個完売



「ハス色ミサンガづくり」
ワークショップメンバー
参加者 80名



「茶席・体験生け花」
泉南市茶華道協会
伝統文化子ども教室
参加者 143名



「小鉢屋かん野作品展」小鉢屋かん野



「みんなで歌おう」いずみバンド参加者 25名



「マンドリンの調べ」
信達中学校ギターマンドリン部
参加者 45名
「ハスの折り紙教室」
ワークショップメンバー
参加者 60名



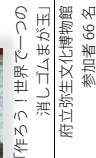
「ハス色ミサンガづくり」
ワークショップメンバー
参加者 80名



「落書きバンザイ」協力：鳥取県立博物館



「おでかけガス科学館」
液体ちっ素の実験」
大阪ガス ガス科学館
参加者 82名



「作ろう!世界で一つの消しゴムが玉」
府立弥生文化博物館
参加者 66名



「楽しいクイズとオリジナル缶バッジ」
紀伊風土記の丘!!
県立紀伊風土記の丘
参加者 82名



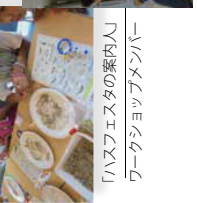
「風呂敷の使い方教室」
小谷城郷土館
参加者 52名



「化石のレプリカづくり」
きしわだ自然資料館
参加者 51名



「ちりめんモンスター」
きしわだ自然資料館
参加者 46名



「ハスフェスタの案内人」
ワークショップメンバー



古代ハスの子どもたちのハスの成長記録

3月 徳島県から郵送
5/3 植え付け 5株
6/6 立ち葉出る
6/17 ひとつめのつぼみ
6/30 ふたつめのつぼみ
*施設正面に移設し柵設置

7/1 ひとつめ開花
7/9 ふたつめ開花
7/9 3つめのつぼみ
7/9 4つめのつぼみ
7/9 5つめのつぼみ
7/9 6つめのつぼみ
*この頃より茎曲がりだす

7/19 3つめ開花
7/22 5つめ開花
7/23 4つめ枯れる
6つめの枯れる
7/25 7つめのつぼみ
8/4 8つめ開花
8/8 ハスフェスタ

ハスフェスタまでの事業概要

- 本事業に参画した住民 約 100 名
- ワークショップ 6 回
参加者 24 名 (のべ82 名)
- 内訳: 5/8 (15 名)、5/22 (14 名)、6/5 (7 名)、6/19 (21 名)、6/26 (14 名)、7/31 (11 名)
- チームごとのあつまり 5 回
ハスの移動と柵の設置 6/30 (6 名)、竹鉄砲づくり 7/1 (2 名)、専門家によるハス栽培の現地指導 7/3 (2 名)、熊取町長池田アサシの見学 7/1 (5 名)、パン販売の打合せ 8/1 (2 名)
- イベント「ハス フェスタ」の参加者 約 500 人 (内訳: 来場者約 380 人・スタッフ約 120 人)
- 本事業の紹介
産経新聞朝刊: 泉州版 (平成 26 年 8 月 8 日)

この取り組みに参加してみたい方
大歓迎です!
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL072-483-6789
メールアドレス: maibun@cityseman.lg.jp

09 これからどうする？

ハスフェスタを終えての「反省会」

今年の5月からはじめての取組み。無事にハスの花も咲き、そのお披露目イベント「ハスフェスタ」も開催することができました。ほんとにここまでの話し合いのテーマは、「これまでとこれから」。ひと段落したところで、これまでを振り返り、これからどうしていくかを話し合いました (8/22)。

■よかったところ

ハスの花が咲いたこと

なにより、ハスの花を咲かせることが出来たこと。取り組みを始めた時は、うまくいくかどうかかわからなかったのですが、最終的に5つの花を咲かすことができました。

来場者が500人以上 つぎは、ハスフェスタ。天候に恵まれたこと、夏休みに開催したこと、ハスの花=お盆とイメージしやすかったことなどが挙げられました。なにより、来場者が500人以上で、しかも親子連れがたくさん来てくれたこと。ワークショップで、「ハスの花がある場所」を、いちばん楽しんでもらいたい人たちを、親子連れに設定し、プログラムの内容を決めただけですが、これがうまくいった、と、いい結果です。

■もうすこし工夫したかったこと

開催日は平日？それとも休日？ 開催日の設定については、立場によって都合のよい日程に違いがあるようです。

休日、できれば日曜日がないという意見は、スタッフとして参加してくれた関係者の意見。というの

今回スタッフとして

参加してくれた子どもたちは、親子で会場を出ての送迎に協力してくれました。平日は仕事なので、送迎を頼める親が少なく、子どもの様子を

見に来れる親も少ない」とのこと。もうひとつは、今回の来場者数に話しかけたところ、方々の意見。今日の来場者数に話しかけたところ、方々の意見。今日の来場者数に話しかけたところ、方々の意見。

一方、平日のほうがよいというの、今年育てた方々の意見。今日の来場者数に話しかけたところ、方々の意見。今日の来場者数に話しかけたところ、方々の意見。

ハスの花が少なかった いちばん悔やまれたのはハスの株数が少なかったこと。今年育てたのは、5鉢の古代ハスの子どもたちと、2鉢の1ざんから提供したもらった栽培種だけ。ハスを目当てに、来場した方々は「あれだけ？」といった感想の方も、「地にたくさんある」といった意見が聞かれました。もともとたくさん育てて見栄えのするものにしていく必要がある」との意見で一致です。



仲間を増やそう！ つぎに意見が出たのは、ハスフェスタの際の「人手不足」。当日ご活躍いただいた方々は「会場全体もみたかった」との意見。お昼ごはんの時間は何か確保できたものの、自分の受け持つプログラムに参加する来場者が多く、余裕がなかったからだとのこと。話し合うなかで、解決には二つの意見が出されました。

まずは、スタッフの数を増やす。仮に人数が倍になれば、半日はスタッフとしてプログラムに参加しながら、残りの半日は会場を見て回ることも可能になります。

もうひとつは、プログラムを事前申込制にすること。いつでもだれでも参加できる現状を、事前申込みにして時間帯指定にし、参加者をコントロールするという意見です。プログラム内容によっては、この方式がよいのかもしれない。

プログラムを楽しんでもらう工夫 この人手不足の話し合いからさらに話が発展し、プログラムをうまく回ってもらう工夫はないかとの話題に。午後のコンサートや実験のプログラムは、午前の同種のものに比べ参加者が少なかったからです。

解決策として意見が出たのは、時間帯で内容を区切ること。たとえば午前中はコンサート、午後はプログラムのみ、といった具合です。

この問題を考える際に、参考になるのが、来場者の親子連れの意見。午前はプログラムチケット集めと順番待ち=コンサートや実験に参加、午後は順番を待っていたプログラムへの参加、だったそうです。午後のコンサートと実験の参加者が少なかったのは、このような動きをする来場者が大半だったからかもしれない。

■これから どうする？

ハスは植え替え、来年も育てる 場所はそのまま、来年5月ごろに植え替えをすることで決定。植えかえるときに、鉢を増やし、今年の2倍程度にすることが目標です。

この時の植え替えを、子どもと一緒に行う行事にする提案がありました。大人だけで、ただ植え替え

るだけでなく、イベントにして、この取り組みにかかわってもらう人を増やす工夫です。

ベンチをつくる？ 鉢が増えれば、座るところも必要になります。レンガのベンチをもう一つ作ろう！との意見も。材料と経費はあるので、あとはどうするかを考えるだけ。これもイベントにすると、この取り組みにかかわってもらう人を増やすこともできるかもしれません。

ハスを料理に 茎の曲がった株も、育ておくことに。「ハスの葉をつかった料理用」として、レンガコンクリート（事務所の意見）として、活用できるからです。具体的には、「ハスを使った男の料理教室」といった行事にしてしまってもいいかもしれません。

ハスフェスタは来年も開催 ハスフェスタは来年も開催。開催時期を、ハスの開花に合わせることで意見が一致。ただし、夏休みでも7月いっぱい「学校の行事が多い」とのこと、開催時期は学校行事などを把握し、重ならないように設定する必要があるとあります。

■とりあえず 次は？

これからの活動で、具体的な日程が決まっているのは、次のふたつです。

「大學生と考える文化財を活かした地域づくり」

9/19 (金) 10:30 ~ 13:00 頃まで

会場：埋蔵文化財センター

阪南大学の学生さんとの取り組みで、市内の文化財を観光の視点で活用してみようというものです。初回は住民の方との話し合い。学生たちは、この時に聞き取った住民の考えから、具体的なプランを考えます。学生と一緒に楽しんでみませんか？

「泉南マルシェ」への出展 (調整中)

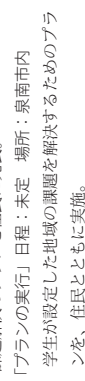
商工会からブースの出展について相談を受けています。内容は、折り紙とミサンガづくり。参加してみたいという方、募集しています。

12/14 (日) 10:10 ~ 14:30

会場：泉南市南部広域防災拠点 (りんくう体育館)

この取り組みに参加してみたい方大歓迎です！ 問合せ・ご意見は、埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789 メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp

地域の課題をさぐる



02

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014 学生たちの中間報告会に 参加してきました

ちょこっとお知らせ 12/15 の発表内容

12/15 (月) に行われる「大学生が考えた・地域資源を活かした観光まちづくり
プラン発表会。11/24に中間報告会が行われました。その際の発表内容について、
一足先にお知らせします。



企画の前提は、地域住民の課題

企画の前提となる「地域の課題」のうち、最も重視したのは「まちを好きになるきっかけがない（住民が自分の街を好きになるきっかけづくり）」。

泉南市のいちばんの魅力は「海」。学生にとっては、うらやましいとのこと。にもかかわらず、ゴミなどが多く「あまり大切にされている感じがしない」と感じたりしく、まちの財産として認識されていないのではとの認識だ。

住民からの「ラブコール」に答える内容

把握した住民側からの具体的な「ラブコール（協定要請）」は、歴史的なまちの活用についてアイデアがほしい（信達市場地区の住民より）と、漁港の活性化（岡田浦漁協さんから）。これに答える内容だ。

企画の「切り口」は海

現地調査のあと学生は、「住民は、海がある利点に気付いていないかも？」との意見が出たとか。なので今回の企画の切り口は「海」としたこと。このころで、**会場選びと情報発信は、人の集まるところで**会場や、情報発信の「拠点」として、「駅」として「ショッピングモール」の活用を考えている。日常のなかで気づいてもらう工夫が必要だとの認識からだ。

発表された学生たちの企画（一部のみ・詳細は裏面）

切り口	活用する地域資源	おもな対象	おもなアイデア	課題解決の方法
A 班 海	戎如遺跡 （世界でも稀な遺跡「たこぼづくり」のふら） + タコソボ漁 （学生時代から近年まで続く伝統） 岡田浦漁港 （大漁漁で唯一の地産（鮮魚））	客船施設の来場者 （ショッピングモールなど）	①地域・学生・埋文で、 戎如遺跡のタコソボ漁 ②子ども、「タコソボづくり体験講座」 ＊保護者はその間ショッピング 岡田浦漁港の皆さんで タコソボ漁体験 + 「漁師メシ」	市外からの 良い評価を得る ↓ 日常的に提示 ↓ まちを好きに思う 住民を増やす
B 班 海 + 歴史的 まちなみ	岡田浦漁港 （学校などとの連携に積極的）		学校給食で魚を提供 + 漁師さんの講座	住民に地域資源の 関心を知る機会 ↓ 日常的に提供 ↓ まちを好きに思う 住民を増やす
	榑井地区 （近世に開拓して発展）	地域住民	榑井地区の街並みでまち歩き （まちの故事を伝える）	
	信達地区・岡田浦漁港 （「歳の市」+ 街並みのまちなみ + フジ）	漁師さん + 農家 + 地域で 信達市場地区の街並みで「歳の市」を 復活（藤まつりの時期に）		

B 班の内容

【デザインタイトル】

港と入場のある風景ーせんなんのにざわい再発見

【活用する資源】

岡田浦漁港

榑井地区

信達地区

【大切にしたい点】

泉南市の地域資源をセットでとらえる

【内容】

岡田浦漁港の地引網体験を、遺う取り組みにつなげる。信達地区の「歳の市」の復活。「廻船商のまちであった榑井地区を周知。

①学校給食と「漁港の出荷授業」 漁師さんが学校で出前授業→給食に出た魚の説明や漁港の紹介をおこなう→知ってもらうことが目的。

②「歳の市」を藤まつりとがっちゃんこ 昭和 10 年頃まで行われていた「歳の市」を復活 → 地元産の食材などを販売→当時の衣装で販売運搬→時期は藤まつりの時期→企画段階から学生が関わる。

③廻船のまち、榑井 まちの成り立ち＝廻船業であることを、まち歩きなどで知ってもらう。

【情報発信の案】

拠点は「駅」と「ショッピングモール」。泉州市の館内放送で。チラシ、ポスター、映画館の映像媒体を利用。イベントブースを設置。

これまでの経過

7/28 「情報の提供」 場所：阪南大学

泉南市職員が学生に情報を提供。どのような地域資源があるのか、どのような活用の実績があるのかなど、講座形式でおこなった（関係者のみ）。

9/19 「課題を深める」 場所：埋蔵文化財センター

学生が住民と対話をおとし、地域の課題を探ること、泉南市についての理解を深めるための機会。参加した住民からは、「自然と歴史的が点在する景観」がある一方で「まちを好きになるきっかけがない」などといった課題が提示された（一般参加）。

10/24・11/4 「現地調査」 場所：泉南市内

これまでで得た情報をもとに、現地を確認。岡田地区、榑井地区、ショッピングモールなどを見学した。

11/24 「中間報告会」 場所：阪南大学

企画のアウトラインを発表し、指導教員からの指導を受ける機会。泉南市職員も参加した（学生のみ）。

今後の予定

12/1 「プレ・フレイズン」 場所：阪南大学

本番と同じ発表形式で、関係者からの指導や助言を得る機会。今年度は大阪府文化課、emco、泉南市の職員が参加する予定（関係者のみ）。

12/15 15:00～17:00 【参加者募集】

「地域資源を活かした観光まちづくりプラン発表会」 場所：埋蔵文化財センター
大学生の視線で考えた地域資源を活かし方を、住民に提案。会場からのご意見を得ながら、実施できるプランに練り上げるのが目標です（一般参加）。

【参加者募集】 大学生が考えた

地域資源を活かした観光まちづくりプラン発表会
2014 年 12 月 15 日 15 時から 17 時

会場：泉南市埋蔵文化財センター
問合せ・申込みは、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789 メールアドレス：maibun@city.

03

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014

発表!! 大学生が考えた 観光まちづくりプラン

【今日の目標】

学生 아이디어をもとに、会場全体で「実施したいプラン」を作成。プラン実施のための「担い手グループ(ブラッ トフォーム)」づくりまでを目指しました。

日程：平成26年12月15日(月)

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：阪南大学12名、住民29名

■スケジュール

15:00 挨拶、事業趣意、本日の説明(事務局)
15:10 阪南大学の取り組みについて(和泉先生)
15:30 B班の発表
15:45 A班の発表
16:00 ワークショップ「実施したいプラン作り」
16:45 「各班で実施したいプラン」発表会
17:00 和泉先生の講評

提案された2×3のプラン

「歳の市」や、近年数万人の来場者で人気の「藤まつり」などをからめたもの。これらのプランを実施することで「人のあたたかさ」や「自分のまちへの誇り」まで年中行事として行われていた、紀州街道沿いの醸成を目指したものです。

	A 班	B 班
タイトル	未だ見ぬ泉南の魅力 ～小さなタコ壺からの大きな可能性～	港と市場のある風景～「せんなん」にぎわい再発見～
活用する地域資源	・ 戎畑遺跡出土タコ壺 ・ 岡田浦漁港	・ 岡田浦漁港 ・ 梶井地区 ・ 信達地区
着眼点	泉南市の歴史資源を日常生活という文脈で捉える	泉南市の地域資源をセットで捉える
将来の展望	潮の香と人のあたたかさに溢れる町になる	泉南市外からのイベント参加者の姿を見て、市民も意外と知らない泉南市の魅力を見直し、自分のまちを誇りに思う
案1 子ども向けの「タコ壺づくり体験講座」	内容：バビママはゆづり買い物。 つくったタコ壺は展示 場所：イオンモール泉南 時間：2時間程度 内容：実行委員会(地域、行政、研究所)で戎畑遺跡出土のタコ壺を展示 場所：埋蔵文化財センター・あへのハルカス 内容：手作りタコ壺を使用してタコ壺漁体験。獲物は漁師飯にしで頂く 場所：岡田浦漁港 時間：2時間程度	岡田浦漁港を地「漁師の出前授業」 域住民の交流の、給食で使用された魚についての説明 ・ 仕事内容の紹介などをおこなう ①岡田浦漁港の海産物、農産物の販売 ②信達地区まで、街道を海産物を当時の装束で行列運搬 ③建造物公開 * 豚祭らせて実施
案2 戎畑遺跡出土品とタコ壺展示会	信達市場の「歳の市」を再現	①岡田浦漁港の海産物、農産物の販売 ②信達地区まで、街道を海産物を当時の装束で行列運搬 ③建造物公開 * 豚祭らせて実施
案3 「タコ壺漁体験・美食」	梶井地区が「廻船商いのまち」だったことを周知 内容：手作りタコ壺を使用してタコ壺漁体験。獲物は漁師飯にしで頂く 場所：岡田浦漁港 時間：2時間程度	市民、市外の人、子どもたち 和泉ゼミ、このアイデアと一緒に考えてくれた皆さん、学校、行政、ショッピングモール、漁業組合 ステキなまち、あたらしいまち
情報発信のアイデア	・ フードコートレー 販路を媒体に ・ 先着100名様に吹き出し ・ 日曜朝市 in イオンモール ・ 中吊り広告、広告誌を媒体に ・ 駅なかマルシェ ・ 海鮮味噌汁配布(帰宅時間帯)	市民、市外の人、子どもたち 和泉ゼミ、このアイデアと一緒に考えてくれた皆さん、学校、行政、ショッピングモール、漁業組合 ステキなまち、あたらしいまち



大学生が提示したプランから、「実施してみたいプラン」にするためのワークショップ。

「前のめり」な参加者と一緒に、話し合いました。

できたアイデアが下の表です!!

	A 班	B 班
デザインタイトル(名称)	タコ壺プロジェクト	アジア大行列
大切にしたい点(切り口)	日本一のタコ壺づくりの村(戎畑遺跡)があった泉南市でタコ壺をつくらう!! 戎畑遺跡(梶井小学校裏) 岡田浦漁港 埋蔵文化財センター	地域間のコミュニケーション 熊野街道 藤まつり
活用する地域資源	埋蔵文化財センターでタコ壺づくり 手作りタコ壺でタコ壺漁 どれたタコを食べる その後タコ壺はイルミネーションに使う	時期：4月下旬 場所：熊野街道沿い 内容：①希望者が、市長・泉南熊次郎など大行列の装束で回りある ②農産物や海産物の販売
プランの概要	市民、市外の人、子どもたち 和泉ゼミ、このアイデアと一緒に考えてくれた皆さん、学校、行政、ショッピングモール、漁業組合 ステキなまち、あたらしいまち	市民、市外の人、子どもたち 和泉ゼミ、このアイデアと一緒に考えてくれた皆さん、学校、行政、ショッピングモール、漁業組合 ステキなまち、あたらしいまち
誰のため?(ターゲット)	市民、市外の人、子どもたち 和泉ゼミ、このアイデアと一緒に考えてくれた皆さん、学校、行政、ショッピングモール、漁業組合 ステキなまち、あたらしいまち	市民、市外の人、子どもたち 和泉ゼミ、このアイデアと一緒に考えてくれた皆さん、学校、行政、ショッピングモール、漁業組合 ステキなまち、あたらしいまち
誰がする?(実施主体)	市民、市外の人、子どもたち 和泉ゼミ、このアイデアと一緒に考えてくれた皆さん、学校、行政、ショッピングモール、漁業組合 ステキなまち、あたらしいまち	市民、市外の人、子どもたち 和泉ゼミ、このアイデアと一緒に考えてくれた皆さん、学校、行政、ショッピングモール、漁業組合 ステキなまち、あたらしいまち
効果(成功の目安)	市民、市外の人、子どもたち 和泉ゼミ、このアイデアと一緒に考えてくれた皆さん、学校、行政、ショッピングモール、漁業組合 ステキなまち、あたらしいまち	市民、市外の人、子どもたち 和泉ゼミ、このアイデアと一緒に考えてくれた皆さん、学校、行政、ショッピングモール、漁業組合 ステキなまち、あたらしいまち

次はいよいよプランの実践(2015年2月予定)一緒に取り組んでみたい方 大歓迎です!

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

TEL:072-483-6789 メールアドレス: maibun@city.seman.jp

04

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014

実現できる企画を考える

【今日の目標】

昨年12月に住民と学生とで考えたアイデアを、実現するための具体的な話合いです。「あれもこれも」となりがちですが、実施するのは自分たち！の前提のもと、（野望は持ちつつも）実現可能な企画立案を目指しました。

日程：平成27年3月10日（月）

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：17名

（阪南大学1名、漁協関係者2名、住民12名、行政2名）

■スケジュール

- 10：00挨拶、事業趣旨（事務局）
- 10：10阪南大学の取り組みについて（和泉先生）
- 10：20班の選択（参加者の自由選択）
- 10：25各チームで企画会議（用意した「穴埋め」シートを使う）
- 11：45「私たちの企画！」発表会
- 12：00終了

*この日、学生さんは「脱活」のため、参加できませんでした。

タコ壺で泉南をアゲる！

泉南市はタコ壺のまち。「タコ壺づくりの村」として世界的な遺跡、戎組遺跡をはじめとして、弥生時代から現在にいたるまで、タコ壺漁歴数千年の歴史と伝統を持つ。この地域資源を活かした観光まちづくりプランが「タコ壺プロジェクト」です。

ここまでの取り組みで、学生をアイディアをもとに、住民のアイディアも加わったプランが出来上がっています。ここで問題なのが、果たして実現できるのか？ここからは、プランの実現を目指した、具体的な話し合いになります。

やりたいことを自分で選ぶ

和泉先生からの話のあと、事務局からのこれまでの経緯について説明ののち、本番です。まずは、この日までに決まっていた3つのアイデアのうち、どれを取り組んでみたいのか、参加者の皆さんに選んでもらいました。

自分たちが実現させたい企画

用意された「穴埋め」シートを順番にこなしながら、各班とも話し合いを行いました。ここで問題になるの



和泉先生からの話



かなり「前のめり」な皆さん

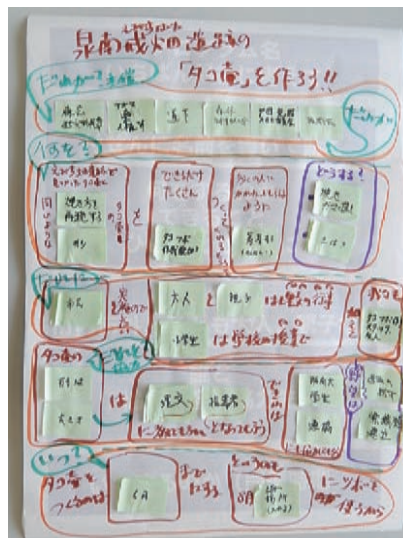


最後に各班の企画を発表

が資金と安全面。やりたいことはあるけれど、本当にできるのか？できる方法を皆さんで考えた結果を、シートにまとめて、最後に各班の代表者が発表。どれも実現したいことを見据えた実現可能な内容です。

■次の予定「タコ壺会議（定例会）」はじめます！
日時 4/17（金）13時～15時・埋文にて
内容 ・タコ壺づくりの内容検討（5/9埋文で実施）
・スケジュールのすり合わせなど

一緒に取り組んでみたい方 大歓迎です！
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789 maibun@city.sennan.lg.jp



企画1 泉南戎組遺跡の「タコ壺」をつくろう！

タコ壺を昔の方法で作ってみようというもの。ここで作られるタコ壺は、タコ壺のライトアップ作品をつくる「sennan タコあかり」に使う。

主催：市民団体、住民有志、（行政）

対象：①大人と親子など（埋文行事で募集）

②市内の小学生（小学校の授業で）

支援依頼先：阪南大、漁協関係者、市内小学校

実施時期：6月までにタコ壺の完成を目指す



企画2 泉タコをとって、たべよう！

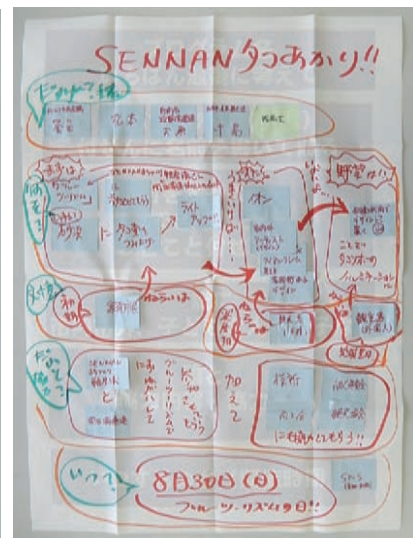
自分が作ったタコ壺でのタコ壺漁と、漁で獲れたタコを食べるプログラム。河合で漁を実施する予定だが、安全管理など問題がありそうなので、メンバーだけで実施し課題の把握に努める。

主催：市民団体、住民有志

対象：まずはワークショップメンバー

支援依頼先：漁協関係者、観光協会

実施時期：7・8・9月の土日



企画3 sennan タコあかり!!

企画1で作ったタコ壺を積み上げて、ライトアップするアートな取り組み。将来的には、アーティストとの共同、サーチライト級のタコ壺イルミネーションを野望に据えた最初の第一歩。

主催：市民団体 + 住民有志

対象：まずは泉南市民

支援依頼先：漁協関係者、市民団体、商工会、観光協会、行政

実施時期：8/30（既存事業への参加を打診）

【この日決められなかったこと】これらの取り組みへの阪南大学のかかわり方は、4月以降にじっくり相談します。

01

第1回 ワークショップ カルタにして伝えたい 泉南の魅力は？



日時：平成26年11月19日（水）

10：00～12：00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：11名

■カルタにしたい魅力は？

まずは「なぜカルタづくりなのか？」といった事業の趣旨を事務局から説明したのち、自己紹介。その後は、自由に話し合いを進めながら「カルタで伝えたい泉南市の魅力」を、ひとり50コ考えました。歴史や文化、方言、風景や街並み、出来事や記憶など、これはりと思うものをとにかく出し合いました。結果、107個のアイデアが出ました。

なぜ郷土カルタづくりをするの？

個性豊かで魅力あるまちを創造するためには、「まちの魅力（＝文化財）」を認識・活用する場と機会が必要です。にもかわらず、「まちの魅力」を、認識するための場と機会が与えられます。



暮らした方の変化により、世代間での引継ぎが困難になるほか、転入者にとってもその機会が乏しいからです。泉南市の場合、まずは、これからの暮らし方に合わせた、「まちの魅力」を認識・活用するきっかけづくりが必要といえます。

より多くの人と、作って使う郷土カルタ

この取り組みは、「まちの魅力」を認識・活用するきっかけづくりの道具として、郷土カルタを作成します。作成にあたり、オープンでフラットな場でカルタを作成するほか、その過程も展示などで、一般に公開します。作成過程自体も「まちの魅力」を認識する場と機会として活用できるためです。また、住民の参画できる機会を最大限設けます。参画した住民は、魅力発信の担い手となることが見込まれるためです。これにより、泉南市が個性豊かで魅力あるまちであることを、効果的に市内外に発信することができずです。ひとりでも多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

郷土カルタづくりのながれ

ワークショップ「カルタにする泉南の魅力」住民の方々と、話し合いながら「カルタにして伝えたい泉南の魅力」と「イチオシの良さ」を確定。

絵れづくり
絵札のイメージは、素敵な水彩画（予定）

読み札づくり
市内の小学生が考えた句を採用（予定）

カルタの簡略作成（2015年9月予定）



ひとり50個を目標に考えたところ、107個の「カルタで伝えたい魅力」が集まりました（下表）。小学校区ごとに並べてみると、遺跡、人物、できごと、産業、自然、食材など、まだまだありそうです。

小学校区		「カルタにして伝えたい泉南の魅力」									
雄雄	男神社	極楽寺	極楽寺きつね	天神ノ森							
	専徳寺	受法寺	南泉寺	茅渚神社	茅渚の海						赤レンガ
	赤レンガ工場	レンガ造り	綿花	紋羽	紡績工場						山の井遺跡
梅井	梅井漁港	男里川干潟	梅井の坂	八反川	サザンビーチ						あいびあ
	漁港の釣り堀	ハクセンシオマ	ネキ								
鳴滝	浄光寺の花堂	たばこ栽培	レンガ工場								
	里外神社	里外神社餅まき	岡田浦漁港	地引網	朝市						泉ダコ
西信	がっちよ	ワタリガニ	はまひるがわ	岡田浦の砂浜	アナゴ天ぷら						道の駅
	タコメシ	サザンビーチのタマゴ	マープルブリッジの朝陽								
新家	淳福寺	種河神社	種河神社湯神楽	山田家住宅	玉ねぎの顕彰碑						玉ねぎ
	お菊松	笠山	ルナリくんうか	泉南カントリーゴルフ	畦ノ谷						大将軍
新家東	市民の森	三本松	蛭								
	大池のつり橋	新家古墳									
一丘	一岡神社	海会寺	古代ハス								
	砂川奇勝	砂川ゴルフ場									
信達	長慶寺	長慶寺塔	林昌寺	林昌寺ツツジ	林昌寺庭						真如寺
	野田ツツジ	大鳥居	和泉砂川駅舎	櫻井川	櫻井古戦場						堀田衛門の墓
東	金熊寺	金熊寺梅林	桜地蔵	ローズガーデン	花さきファーム						泉南市の花井
	紀泉わいわい村	わいわい村の虫	堀河ダム	信達神社							
その他	熊野街道	浜街道	信長街道	根来街道	信達一之瀬王子						じゃごうこ
	市の色	結藍色	子どもの権利に関する条例	りんくう（関空）イオン	南海電車						阪和線
	水ナス	米	サトイモ	ふき	祭の押し寿司						やぐら祭り
	市の木岡中の楠	市の花 梅	市の草花桜草	ため池	田んぼと畑の二毛作						方言

■次回以降のごあんない

以下の3回の話し合いで、カルタの内容を決めます。

次回以降の予定

12/3（水）「カルタにしたい理由は何？」

12/17（水）「場所と理由をくつつける」

1/14（水）「小学生に引き継ぐ」

*午前10時～12時・埋蔵文化財センターにて

この取り組みに 参加してみたい方 大歓迎です！

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

TEL072-483-6789 メールアドレス：maibun@cityseman.lg.jp

【宿題です】上の表を見ながら、考えてみてください

カルタにしたいところは？カルタにしたい理由は？

①「カルタにして伝えたい泉南の魅力」にあたらに追加するものはないか？②カルタにして伝えたい理由を考えてみてください（できるだけ短い文章。たとえば「泉ダコ」の場合、「世界一美味」など）。ちょこっと頭の片隅で考えてみてください。

02 第2回 ワークショップ カルタにして伝えたい理由も考える

日時：平成26年12月3日（水）
10:00～12:00

場所：泉南市理蔵文化財センター
参加人数：11名

■カルタにして伝えたい理由も考える

前回出された107個の「カルタで伝えたい泉南市

の魅力」。この日までの宿題として、まだまだあるはずなので、皆さんに考えて頂きました。その結果、出されたアイデアは86個。併せて200個近くになりました。

次に、それらを共通する条件をさがしながらグループング。結果、71のグループにまとまりました。



■作業の進め方

今回のワークショップは、カルタづくりの肝となる部分です。今のところ、ここで決められた「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」にもとに、絵札の図柄や構図まで決め込む予定です。また、読み札の肝となる部分も、ここで決めるので、読み札のおおその内容もここで決まってしまう。これからだんだんやわしくなりますが、もう一息です。事務局もあたふたしておりますので、もっともすればとかご意見大歓迎です。

①まずはとにかく考える

林昌寺のツツジがきれい
林昌寺には石造物が多い
林昌寺の庭がステキ
林昌寺にはシイの実がある

左の図はあくまで目安ですが、作業の進め方を簡単にまとめたものです。このワークショップでは、図中の②まで決めて、③は作画担当の職員に、④は市内の小学生にお願いする予定です。

②次にまとめて



③絵札づくり

林昌寺のツツジがきれい
林昌寺の庭がステキ
林昌寺にはシイの実がある
林昌寺には石造物が多い

④読み札づくり

たとえばですが…
「し」シイの実と 庭とツツジの 林昌寺
「り」林昌寺 庭のツツジが きれいだよ

第5表 「上毛かるた」の読札（昭和22年）

い	伊香保温泉 日本の名湯	う	碓氷峠の 関所跡
ろ	老農 船津伝次平	の	登る極名の キャンプ村
は	花山公園 つつじの名所	お	太田金山 子育て呑龍
に	日本で最初の 富岡製糸	く	草津よいとこ 薬の温泉
ほ	誇る文豪 田山花袋	や	耶馬溪しのぐ 吾妻峽
へ	平和の使徒 新島 襄	ま	蕨と生糸は 日本一
と	利根は 坂東一の川	け	県都前橋 生糸の市
ち	力あわせる 二百万	ふ	分福茶釜の 茂林寺
り	理想の電化に 電源群馬	こ	心の燈台 内村鑑三
ぬ	沼田城下の 塩原太助	え	縁起だるまの 少林山
る	ループで名高い 清水トンネル	て	天下の義人 茂左衛門
わ	和算の大家 関 孝和	あ	浅間のいたづら 鬼の押し出し
か	関東と信越つなぐ 高崎市	さ	三波石と共に 名高い冬桜
よ	世のちり洗う 四万温泉	き	桐生は日本の 機どころ
た	滝は吹割 片品渓谷	ゆ	ゆかりは古し 貫前神社
れ	歴史に名高い 新田義貞	め	鉦仙織出す 伊勢崎市
そ	そろいの支度で 八木節音頭	み	水上 谷川 スキーと登山
つ	つる舞う形の 群馬県	し	しのぶ毛の国 二子塚
ね	ねごとこんにゃく 下仁田名産	ひ	白衣観音 慈悲の御手
な	中山道しのお 安中杉並木	も	紅葉に映える 妙義山
ら	雷と空風 義理人情	せ	仙境尾瀬沼 花の原
む	昔を語る 多胡の古碑	す	裾野は長し 赤城山

発行部数100万部の郷土カルタ「上毛カルタ」を目指しませんか？

「上毛かるた（じょうもうかるた）」は、1947年（昭和22年）に発行された郷土かるたである。群馬県の土地、人、出来事を読んでいる（全44枚）。上毛とは群馬県の古称。毎年1月の予定大会の後、2月に行われる上毛かるた県競技大会に向けて、群馬県内の子供たちは、冬休みを利用するなどして練習に励む。そのため、子供時代を群馬県で過ごした人は、かるたの読み札をほぼ暗記している。（ウィキペディア「上毛カルタ」より抜粋）

■次回以降のごあんない■

以下の2回の話合いで、カルタの内容を決めます。
次回以降の予定 ……………
12/17（水）「場所と理由をくっつける」
1/14（水）「小学生に引き継ぐ」
※午前10時～12時・理蔵文化財センターにて

カルタにして伝えたい理由を考えてみてください

現在あげられている「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」は200個。その理由をもう一度、考えてみてください（できるだけ短い文章。たとえば「泉ダコ」の場合、「世界一美味だから」など）。カルタにする魅力に過不足がないかが、整理するためです。

問合せ・ご意見は 泉南市理蔵文化財センターまで TEL.072-483-6789
メールアドレス: maibun@city.sennan.lg.jp

橋井小学校	信達小学校	鳴鳴小学校	新家小学校
寺 受法寺 専徳寺 南泉寺	林昌寺 四国八十八か所めぐり シイの実	浄光寺 観音様は海会寺にあったもの？ 夕陽の 絶景スポット 鐘の大きさは日本屈指 夕方六時の鐘の音がい 麗しい	鬼瓦 ツツジ ショブ 山田家住宅 神楽 カ石 種河神社 橋に野田フジ シイのみ ハイキングコース お泉松コース 青少年の森周辺
茅渚神社 糸へんのまち 水がく 坂のまち 海水浴場 レンガ 山の井遺跡	長慶寺 熊野街道の王子跡 一ノ瀬王子 本陣 信達宿の常夜灯 大鳥居 真如寺	船の音 昭和20年代 漁師さんの船 音がずれば晴れ 市内最大のレンガ工場があった 輪環窯があった レンガの煙突があった	駐ノ谷地蔵 化石がでる 種河神社 カ石 シイのみ ハイキングコース お泉松コース 青少年の森周辺 大將軍 温泉があった 玉ねぎの碑 浄福寺

■校区を決めていない「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」【宿題②】ここにあるものを、どこの小学校にお願いするか、考えてみてください■

鬼瓦	泉南市	泉南井	農産物	海産物	南海電鉄	阪和線	花	虫	野鳥がた	イント	大阪道	田園風景	盆踊り	まのり	まのり	熊野街道	グルメ	街道
街道沿いの民家	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）	泉南無次郎（はんく）

日時：平成26年12月17日（水）
10：00～12：00

場所：泉南市埋蔵文化財センター 参加人数：12名

■これまでは、107 (11/19) → 193 を 71 (12/3)

前回 71 コまで絞り込んだ「カルタにして伝えたい泉南

市の魅力」。この日は、71 個に 5 個のご新規さんを追加したのち、一緒にできるものを合体させて 58 個まで絞

り込むことができました。

何よりの成果は、読み札の作り方を皆さんで考えて決めたこと。このワークショップで「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」を、「いろは」の44個まで絞り込み、小学校に匂づくりを依頼。「いろは」の振り分けは、匂ができてから小学校の先生方と考えることにしました。

■カルタの作り方も、話し合い（ワークショップ）で決定しよう！

事務局の予定では、この日までに「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」を絞り込みと、それらを学校ごとに割り振りまで…と思っていたのですが、予定を変更し、カルタの作り方を話し合うことにしました。「いろは」を誰が指定したらいいのか、じっくり考えてみようとの意見があったからです。

話し合いの前提として、句をつくる小学校の先生方に確認したところ「どちらでもよい」とのこと。「いろは」を指定して句づくりを依頼してもよし、句をつくりながら先生方もふくめて「いろは」を調整するのでもよし、です。

■一番いい句をつくってから「いろは」にふりわけ。

まずは、二者択一で考えてみました。句の頭文字を絵札の文字とするか、句の途中で区切りのいいところにある文字を絵札の文字とするか、です。結局、この論点ではうまく話がまとまりませんでした。

次に、何が一番大事かと考えてみました。話ははずみ、もっとも尊重すべきなのが、句の作者の意図(子どもの意見)だということで見解が一致。これを最大限尊重するため、絵の文字=読み手の句の区切りのいい単語の置換文字にすることに(以後説明が長くなるので、このやり方を「百人一首のような方式」と名付けます)。出来上がった句を最大限尊重したまま、読み札に使用することにつながるのと配慮からです。

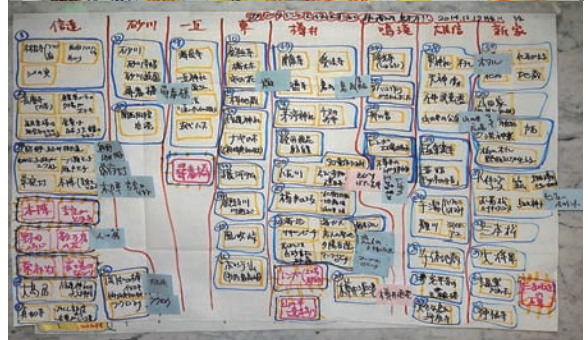
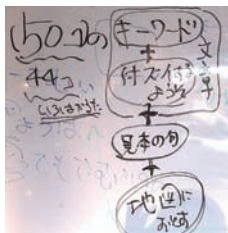
■目標は、「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」+「付随する素材」+「見本の句」+「位置図」を44個。

句作りを小学校に引き継ぐための資料の構成も話し合いました。

結果、「いろは」の44個漢字を取り込んだキーワードに、付随する要素・句の見本・地図上での位置をそれぞれまとめたものになりました。たとえば、「林昌司」という「キーワード」に、「庭がきれい、ツツジがきれい、シイの実がある、八十ふり所めくりがある、…」といった「付随する要素」、「ツツジ庭園 林昌司 シイの実売り店に四時ごろくり」といった「見本の句」に、林昌司の位置を地図上に示すところまでがこのワークショップの目標です。

■次回、話し合いましょう「絵札はの構図はどうやって決めるのか？」

絵札のことも考えながら、「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」を44個に確定したり、句づくりをしないと、作画が難しくなるのではとの心配からです。これから考えるべき事柄だと思います。皆さんもどうするのが一番いいのか？考えてみてください。次回に話し合います。



■追加してから、合体させて、まとめた 58 の「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」(71→76→58)

作業の過程を記録するため、当日使用した模造紙を書き直したのが写真です。表記は、「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」＝青の枠線。追加された「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」＝ピンクの付せん。他と合体したアイデア＝ピンクの文字・ピンク枠線、「合体」して加わった「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」＝青い付せん、としました。

■次回以降のごあんない■

1/14 (水) 「小学生に引き継ぐ」

*午前 10 時~12 時・埋蔵文化財センターにて

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789
メールアドレス：mailbun@city.sennan.lg.jp

【宿題】 44 個まで絞り込んでみてください

これまで、「合体」させながら57個まで絞り込んだ「カルタ」にして伝えたい泉南市の魅力。考え方としては「追加」→「合体」→「選択」です。最後はベスト44まで絞り込みますので、次回までに「私のベスト44」を考えてみてください。

	伝達	砂川	一丘	東	橋井	鳴滝	雄信	新家	新家東	西伝達	
林昌寺	つづじ	奇勝	一間神社	梅林 金熊寺	南泉寺	浄光寺	ショブ	姫室 観ノ谷	化石が出る 古墳	兎田古墳 フィアグ山古墳	ハミルガオ アマモ
	庭	道園	紙園さん	市の花	尊徳寺	たばこづくりが盛んだった		日本書紀ゆかりの地 地蔵			
	シイの実	母春橋	泣いた仏像の話	-	受法寺	船の首	首がずれた隙れ	天神ノ森 山田家	国登録文化財	新築古墳	王録魚ヶ淵
	八十八か所めぐり	関西国際空港	古代バス	伝達神社 文化財	鬼瓦がりっぱ（ここに限らず市内各所） レンガ通りが盛んだった	工場があった	山の井（公園）	湯神楽	権井合戦	里外神社 やぐらの宮入が特徴的	
	塔			堤河ダム	茅渚神社	チヌ（釣り）のお守り	榊屋聖子 千鳥 鮎	石カ 柏の木に野田フジが生える		岡田浦池港	わかめ 白曜朝市 河口のボラの大量 河口のウナギ 河口のアサギ
	鐘撞堂は夕陽の下で「イエス・ポスト」観音様は海会寺のものといわれる鐘は日本三大梵鐘のひとつ王子跡がふたつある戴戸王子跡（府史跡）常夜灯本陣のちの八代将軍も泊まった伝達神社の選擇所大島原真知寺隠し部屋がある本堂がシロ置き桶・棋府指定記念物			金熊寺川遊び風吹峠荒天山市内最高峰	糸へん坊蹟成煙遺跡梅井の坂海納柱染油			男里川の干涸ハイキングコースが大くお菊松白山神社大阪湾のビューポイント大きな鬼瓦三本松淨福寺大將軍温泉水あった			

[illegible]

【お願い】考えてみてください
・追加するものがないか
・合体できるものがないか
・次の機会にしたいものがないか

※次回話し合いますよ

04 第4回 ワークショップ

日時：平成27年1月14日（水）
10：00～11：30

■ 107 → 193 → 71 → 76 → 58 → 61 → 50 で確定

これまで話し合いを続けてきたのは「カルタにして伝えたい泉南の魅力」を決めるため。この日の話し合いで、確定することが目標です。

カルタ完成までの今後の予定と、必要になる作業を説明し、最後にカルタ大会開催の展望を共有（？）。春からは新メンバーも募集しながら進めることとします。

※今回のニュースレターは、経過がわかるように、順を追って記載しています※

■「を」「め」「系」「ん」もつかおう！

実はこれまで、カルタとは何故あるものなのか？まったく調べていなかった事務局担当者。調べてみると、「あいうえお」と、最大48字。見れば結果、最大47字（を「ない」）。「あ」「あ」「ん」を扱った44字にすぎません。いろいろなカルタをいろいろ結果、特に扱った枚数がないと判断、話し合ひ、決めることにしました。

要は「を」「ぬ」「系」「ん」を扱うかどうか。結果、すべて読み札として扱うこととしました。現代版名置いのなかで使うこととは異なる文字ですが、勘弁されればまた歴史（文庫の文飾）を復元した結果です。このことで、48個の「カルタ」にて伝えたい泉南市の魅力を決めることと目標としました。

【参考】歴史的仮名遣い「ぬ」「糸」が含まれる語「Weblio 辞書より」-----

「ぬ」が使われるのは 紫陽花（あぢさゐ）、藍（あゐ）、乾（いぬめ）、位（くらゐ）、紅（くれなゐ）、数居（しきゐ）、芝居（しばゐ）、潮騒（しほさゐ）、烏居（とりゐ）、幸いる（ひきゐる）、参る（まゐる）、用いる（もちゐる）、基（もとゐ）、井・堰（ゐ）、猪（ゐ）、亥（ゐ）、居（ゐ）、蘭（ゐ）、蘭草（あぐさ）、居丈高（ゐたけだか）、田舎（あなか）、威張る（ゐあはる）、居る（ゐる）など。

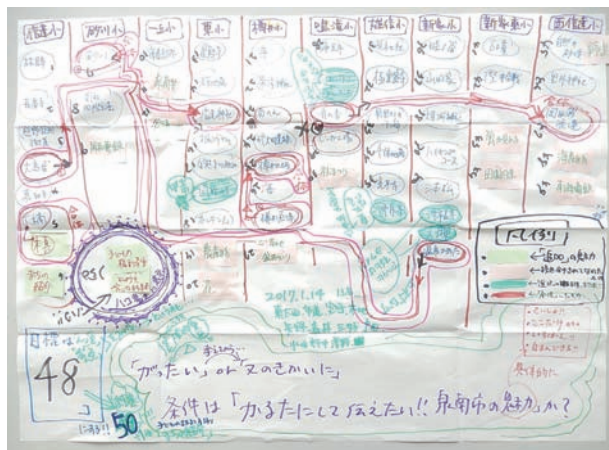
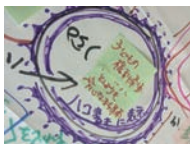
「糸」が使われるのは 應（いしずる）、植える（うゑる）、飢える（うゑる）、声（こゑ）、梢（こずゑ）、末（すゑ）、握える（するゑ）、杖（つゑ）、巴（ともゑ）、微笑む（ほほゑむ）、故（ゆゑ）、所以（ゆゑん）、描く（ゑがく）、扶る（あぐる）、餌（ゑさ）、酔ふ（ゑぶ）、笑み（ゑみ）、笑む（ゑむ）、槐（ゑんじゅ）など。

■最終的に50個の「カルタにして伝えたい泉南の魅力」を紹介することで確定

つぎにカルタの枚数(48枚)を目標に、絞り込みを開始。基準は「カルタにして伝えたいものかどうか」。絞り込む方法は、まずは「追加」がないか確認し、「合体」させ、最後にどれにするか「選択」しました。より多くのアイデアが盛り込まれるようにしたかったからです。途中「追加」するものや、やっぱり「分解」したほうがよいものも再確認。最後に50個まで絞り込むことができましたが、「合体」も「選択」もできない状態に。



どうしたものと考えていたところ、メンバーさんから選び方についての提案がありました。「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」だけでも、「カルタを使う人」にぜひとも知してほしいものなのか、それとも「広く一般に知ってほしい」ものなのかで考えてみるかどうかというところ。前者であれば、カルタで遊ぶたびに必ず読み上げるので「カルタを使う人」



は必ず知ってもらう。後者であれば、カルタで遊ばないとわからない情報ではなく、カルタの箱を手取るだけで目につく一知ってもらうことができます。提案案としての考え方で話した結果、ひとつ（子どもの権利条例）はカルタの箱書きに表現し、もう一つ（泉南市のまちについての説明）は「49 枚目のカルタ」として、扱うことに決定。最後は各小中学校への振り分け。偏りを考えながら、地域的なかわかりやすかったものを選びました。

■今後のごあんない■

これからは、作業ごとにわけてチームで活動します。
「絵札のうらチーム」以外は、新メンバーの募集を行
うことでより多くの人にかかわってもらえる機会を作
ります。

■カルタ完成までの予定■

2月～3月 -----

「絵札のうらチーム（仮）」

「タイトル」＋「説明」作成＝小学生への引継ぎ文書

3月 -----

「絵札のおもてチーム（仮）」

作画用の写真撮影＝作画の意見＝絵札のレイアウト

9月～10月 -----

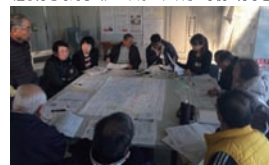
「箱と札のデザインチーム（仮）」

札のデザイン、箱をどんな絵柄など

9月~12月-----

「カルタ大会チーム（仮）」

カルタ大会の企画運営+大会プロモーション



問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789
メールアドレス：mailbun@city.sennan.lg.jp

確定！ 50 個の「カルタにして伝えたい！ 泉南市の魅力」 * 「子どもの権利条例」に関する紹介は、カルタの箱に記載することとする。

[illegible]

【今後の作業】これらの項目ごとに、「項目タイトル」+「説明書き＝絵札の裏（300文字程度）」+「見本の句」+「位置図」にまとめて小学校へ句づくりの素材として提示する

11. 附編

泉南市埋蔵文化財センター条例

平成9年4月4日
条例第10号

(設置)

第1条発掘調査等で得られた考古学的資料(以下「資料」という。)の保存及び活用を図り、歴史に対する理解を深め、市民文化の向上に資するため泉南市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
泉南市埋蔵文化財センター	泉南市信達大苗代 374-4

(業務)

第3条センターは、次の業務を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 埋蔵文化財の調査研究及び活用に関すること。
- (3) 資料を展示し、公開すること。
- (4) 資料に関する講演会、講習会及び研究会等に関すること。
- (5) その他泉南市教育委員会(以下「委員会」という。)が設置目的を達成するために必要と認める業務

(入館の制限)

第4条委員会は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を断り、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設又は設備等を毀損し、又は汚損するおそれがあるとき。
- (3) 資料等を汚損し、若しくは損傷し、又は亡失させるおそれがあるとき。
- (4) 前3号に定めるもののほか、管理上支障があるとき。

(損害の賠償)

第5条何人もセンターの施設若しくは設備を毀損し、又は備品若しくは資料等を亡失し、若しくは損傷したときは、これを修理し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない理由があると認めたときは、この限りでない。

(職員)

第6条センターに必要な職員を置く。

(委任)

第7条この条例に定めるもののほか、センターの管理運営に関し必要な事項は、委員会規則で定める。

附則

この条例は、平成9年4月27日から施行する。

泉南市埋蔵文化財センター条例施行規則

平成9年4月4日
教育委員会規則第1号

(趣旨)

第1条この規則は、泉南市埋蔵文化財センター条例(平成9年泉南市条例第10号。以下「条例」という。)第7条の規定に基づき、泉南市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間及び休館日)

第2条センターの開館時間は、午前9時30分から午後4時30分までとする。

2センターの休館日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
 - (2) 毎週土曜日及び日曜日
 - (3) 12月28日から翌年1月5日までの日
- 3 前2号の規定にかかわらず、泉南市教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認めるときは、開館時間及び休館日を変更し、又は臨時に休館することがある。

(資料の貸出し)

第3条条例第1条に規定する資料(以下「資料」という。)は、教育的目的又は学術研究に使用する場合に限り、館外に貸出しをすることができる。

2 資料の貸出しを受けようとする者は、資料貸出申請書(様式第1号)を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

3 委員会は、前項の規定により許可したときは、資料貸出許可書(様式第2号)を交付する。

(行為の禁止)

第4条センターでは、次の行為をしてはならない。

- (1) 所定の場所以外で喫煙し、又は火気を使用する行為
- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為
- (3) 所定の場所以外に無断で立ち入る行為
- (4) その他管理上支障をきたす行為

(委任)

第5条この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

附則

この規則は、平成9年4月27日から施行する。

附則(平成17年3月2日教委規則第1号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

史跡海会寺跡広場条例

平成7年6月27日
条例第11号

(設置)

第1条史跡海会寺跡を保存するとともに市民にこれと親しむ場を提供し、もって市民の文化的向上に資するため、史跡海会寺跡広場(以下「海会寺跡」という。)を泉南市信達大苗代に設置する。

(施設)

第2条海会寺跡に次に掲げる施設を置く。

- (1) 塔、講堂、回廊、基壇等の復元された歴史的建造物
- (2) 積層面遺構露出保護展示施設
- (3) 広場

(管理)

第3条海会寺跡は、泉南市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(入場の制限)

第4条教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認められる場合は、海会寺跡への入場を制限することができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設を損傷し又は汚損するおそれがあるとき。
- (3) 前2号に定めるもののほか、管理上支障があるとき。

(委任)

第5条この条例に定めるもののほか、海会寺跡の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

史跡海会寺跡広場条例施行規則

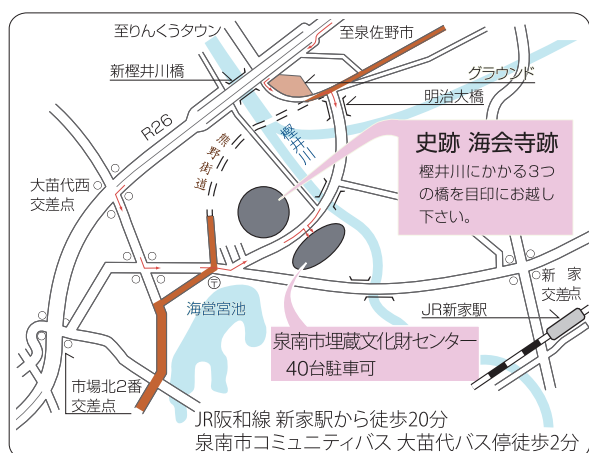
平成 7 年 6 月 27 日
教育委員会規則第 5 号

- (趣旨)
- 第 1 条この規則は、史跡海会寺跡広場条例 (平成 7 年泉南市条例第 11 号。以下「条例」という。) 第 5 条の規定に基づき、史跡海会寺跡広場 (以下「海会寺跡」という。) の管理運営について必要な事項を定めるものとする。
- (入場者の遵守事項)
- 第 2 条海会寺跡の入場者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。
- (1) 樹木を伐採し、又は植物を採取してはならない。
 - (2) 土地の形質を変更してはならない。
 - (3) 鳥獣類を捕獲し、又は殺傷してはならない。
 - (4) 車両を乗り入れてはならない。
 - (5) 立入禁止区域に立ち入ってはならない。
 - (6) はり紙、はり札又は広告を表示してはならない。

資料貸出申請書				
年 月 日				
泉南市教育委員会殿				
申請者 住所 (所在地)				
氏名 (名称)				
代表者名 (印)				
Tel				
下記のとおり、埋蔵文化財センターが管理する資料の貸出を受けたいので申請します				
利用目的				
貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで			
利用場所				
利用方法				
貸出資料	分類番号	品名	数量	備考
輸送方法				
取扱責任者				

- (7) 他人の迷惑となる行為をしてはならない。
- (損害賠償)
- 第 3 条海会寺跡の利用者が施設又は設備を損壊し、汚損し、又は滅失したときは、これを修理し、若しくは原状回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、利用者の責めに帰することができないときは、この限りではない。
- (積層面遺構露出保護展示施設)
- 第 4 条条例第 2 条第 2 号に掲げる積層面遺構露出保護展示施設 (以下「展示施設」という。) の利用時間は、午前 10 時から午後 4 時までとする。ただし、泉南市教育委員会 (以下「教育委員会」という。) が必要と認めるときはこれによらないことができる。
- 2 展示施設の閉休日は次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときはこれによらないことができる。
- (1) 12 月 28 日から翌年 1 月 5 日までの期間
- (委任)
- 第 5 条この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。附則
- この規則は、公布の日から施行する。

資料貸出許可書				
泉南教委生発第号				
年 月 日				
殿				
泉南市教育委員会				
年 月 日付けで申請のありましたセンター資料の貸し出しについては、次のとおり許可します。				
利用目的				
貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで			
利用場所				
利用方法				
貸出資料	分類番号	品名	数量	備考
輸送方法				
許可条件				



利用案内

所在地：大阪府泉南市信達大苗代 374-4 史跡海会寺跡広場前

電話：072-483-6789

FAX：072-483-7089

メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp

ホームページ：http://www.city.sennan.osaka.jp/~maibun/maibunn-top.htm

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：土・日曜日・祝日（第2・4土曜日は開館）・年末年始

入館料：無料

泉南市埋蔵文化財センター 年報 平成26年度 2015年8月 編集・発行 泉南市教育委員会